

令和4年度 事業年報

国民健康保険 金ヶ崎 診療所  
国民健康保険 金ヶ崎歯科診療所  
金ヶ崎町訪問看護ステーション

岩手県金ヶ崎町保健福祉センター

# 巻 頭 言

所長 阿部 俊和

令和4年度の金ヶ崎診療所、歯科診療所の年報発刊に当たりご挨拶申し上げます。

令和4年度も前年度に引き続きコロナ禍での業務となりました。発熱外来は前年度比の10倍以上の患者数で、午後はもっぱら発熱外来とコロナワクチン接種の対応に追われました。昨年、一昨年はインフルエンザの発症が非常に少ない年となりましたが、今年度は冬季に入りインフルエンザ感染症も流行し、発熱外来においてもCOVID-19とインフルエンザ抗原同時測定キットを用いての対応となりました。

発熱外来では医師1名、看護師2名が対応にあたり、新型コロナワクチン接種業務においても医師1名、看護師2名が必要となりますので、午後の一般外来は限定させていただきました。午後は主として発熱、ワクチン業務に加え、訪問診療、大腸カメラ、非常勤診療として眼科、神経内科、整形外科、婦人科の診療、更には掛かり付けの患者の急患対応に充てさせていただきました。令和5年5月8日よりCOVID-19は感染症法上の第5類となりインフルエンザ等と同じ扱いになりますが、その感染力に変化はなく未だ全国的に終息しておりませんので、今後もしばらく午後の一般外来は休診となります。午後の一般外来診療を望む患者様には大変ご不便をおかけしますが、今しばらくお待ちしていただきたいと思っております。

一般外来診療においては、内科、外科、泌尿器科、歯科に関しては従来通り常勤医が担当しました。一般内科では高血圧、脂質異常症、糖尿病をはじめとした生活習慣病に加え上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査を常時行える体制で診療いたしました。外科においては外来で対応可能な外傷に加え、痔核など肛門疾患、巻き爪などの爪疾患等にも対応しております。また、周辺の病院からの依頼により整形外科的のフォローも行っています。泌尿器科においては、慢性腎臓病等の内科的疾患に加え、CTや膀胱鏡システム、経直腸超音波検査装置などを用い、外来で対応可能な範囲での専門性の高い医療も提供しております。

当町には入院加療を行える施設がございません。そのため金ヶ崎診療所では以前より訪問診療や訪問歯科診療、訪問看護にも力を入れて取り組んでまいりました。令和4年度においてはコロナ禍でありましたが、従前どおり訪問診療、訪問看護を継続し、在宅での看取りも行っていました。今後も通院困難な患者様に関しましては訪問診療、訪問歯科診療、訪問看護が一体となり良質な在宅医療を提供してまいります。

令和4年度のトピックは、従来より開設している眼科、神経内科、整形外科、婦人科、循環器内科に加え呼吸器内科が新設されたことです。週1回月曜日の午前中のみ診療ですが、呼吸器内科専門医により、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息、肺炎等の呼吸器疾患の診療を金ヶ崎町内で受ける事が可能となりました。当診療所に通院中の患者様方にもご高齢な方が多く、町外の医療機関への通院が困難な方にとって利便性が増したと思っております。

令和5年度もこの体制での医療提供を続けてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

金ヶ崎診療所は町民の皆様が健康でいられますようにお手伝い致します。

# 金ヶ崎診療所の理念と基本方針

## 【理 念】

町民が明るく健康でいられるようにお手伝いします。

## 【基本方針】

1. 患者様の訴えを真摯に伺い診療に当たります。
2. 迅速で的確な医療を提供します。
3. 患者様中心の全人的医療を目指します。
4. 訪問診療の充実を図ります。
5. 近隣の医療機関と連携を密にすることにより紹介、入院を容易にします。
6. 出前講演や広報等を通じて地域の予防医学に貢献します。

# 金ヶ崎町保健福祉センター事業目的

## 1. 金ヶ崎診療所

- 1) 金ヶ崎町は人口約 15,000 人で北上市、奥州市に囲まれており、周辺には県立中部病院、胆沢病院、江刺病院、北上済生会病院、総合水沢病院等の総合病院が林立しております。金ヶ崎診療所は無床診療所であり、一般外来診療と訪問診療、講演等の疾病啓発活動を中心に事業を行っています。当診療所の役割は地域医療であり、患者様を総合的に診、高度な医療が必要な患者や、入院が必要な患者を上述の病院にスムーズに紹介し入院できる環境を作る事にあります。
- 2) 診療所の機能  
一般総合内科外来診療  
神経内科・呼吸器内科・消化器科・循環器内科・外科・整形外科・泌尿器科・肛門科・婦人科・眼科の専門外来  
禁煙外来  
訪問診療
- 3) 新型コロナワクチン接種（個別接種、集団接種）
- 4) 発熱外来（新型コロナ対応、PCR 検体採取）

## 2. 金ヶ崎歯科診療所

- 1) 一般歯科
- 2) 小児歯科
- 3) 歯科検診

## 3. 訪問看護ステーション

- 1) 訪問看護（24 時間対応）
- 2) 訪問注射
- 3) 訪問診療と合同で緩和医療、看取り

## 4. 保健福祉センター

- 1) 福祉係
- 2) 医療係
- 3) 元気 100 歳健康支援係
- 4) 介護保険係地域包括支援センター
- 5) 新型コロナワクチン接種対策室

# 1. 金ヶ崎診療所施設の概況

## (1) 診療所施設等の状況

- 1) 標榜診療科 内科、外科、泌尿器科、肛門科、歯科、小児歯科  
曜日指定診療科 神経内科、呼吸器内科、循環器内科、整形外科、婦人科、眼科
- 2) 一般外来診療
- 3) 主な医療機器の整備状況

### 【放射線部門】

全身用コンピューター撮影装置 (MDCT16 列)、一般撮影装置、診断用 X 線テレビ装置、骨密度測定装置 (DEXA)

### 【検査部門】

全自動血液分析装置、自動血球計数装置、ABI (CABI)、心電計、ホルター心電計

### 【その他】

経鼻上部消化管電子内視鏡、経口上部消化管電子内視鏡、  
気管支ファイバー内視鏡、超音波診断装置 (心エコー、頸動脈エコー可)  
泌尿器科膀胱電子内視鏡セット、尿流測定装置、簡易残尿測定装置

## (2) 診療圏人口等の状況

- 1) 診療圏人口 (令和 5 年 3 月 31 日現在)

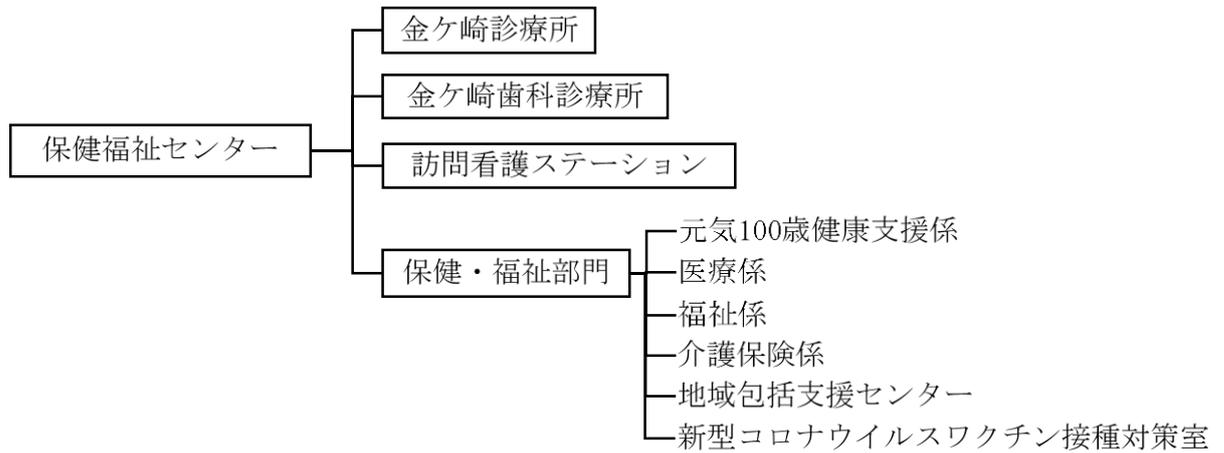
126,006 人

金ヶ崎町 15,129 人、奥州市 110,877 人

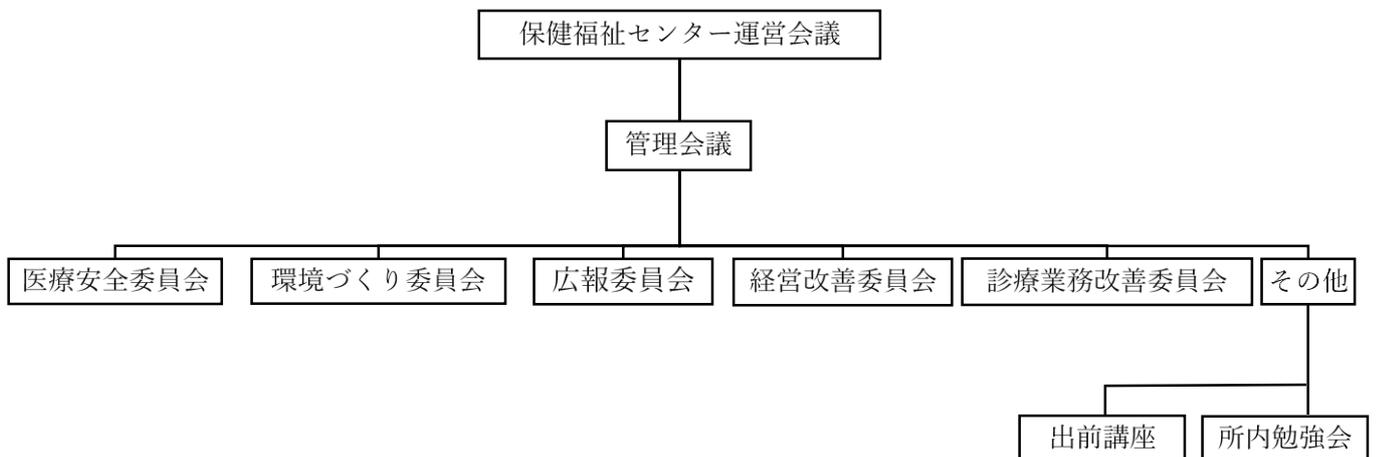
- 2) 病院及び診療所の状況 (地域医療情報システムより 令和 4 年 11 月現在)

金ヶ崎町	一般診療所	6	病床数	0 床
	歯科診療所	6		
奥州市	病院数	9	病床数	1,559 床
	一般診療所	71	病床数	127 床
	歯科診療所	50		

### (3) 診療所組織図



### (4) 委員会組織図



## (5) 診療体制及び職員の状況

1) 医師数の状況 (令和5年3月31日現在)

(単位：人)

診療科	常勤	診療応援	診療応援の内訳
内科	2		
神経内科		1	毎週1回、火曜日午後
呼吸器内科		1	毎週1回、月曜日午前
循環器内科		1	毎週1回、木曜日午前
外科	1		
整形外科		1	毎週1回、木曜日午後
泌尿器科	(1)		
肛門外科	(1)		
婦人科		2	隔週、木曜日午前・金曜日午後
眼科		1	毎週1回、月曜日午後
歯科	1		
計	4	7	

※ ( ) は兼任

2) 職員数の状況 (令和5年3月31日現在)

(単位：人)

診療科	常勤	会計年度任用職員	計	備考
医師	3		3	
歯科医師	1		1	
看護師	6	1	7	
薬剤職員	1	1	2	
医療技術員	2	3	5	
歯科衛生士	1		1	
事務職員	3	1	4	
計	17	6	23	

## (6) 事業運営状況

### 国民健康保険診療施設特別会計

国民健康保険診療施設特別会計の歳入総額は、医科勘定 434,562 千円と歯科勘定 64,843 千円を合わせた 499,405 千円で、歳出総額は医科勘定 397,984 千円と歯科勘定 54,806 千円を合わせた 452,790 千円となり、収支差引残は 46,615 千円である。

#### 【医科勘定】

令和4年度は、医師3人の診療体制であった。

診療応援では、婦人科は岩手医科大学からの応援をいただき月4回（担当医師によって木曜日午前または金曜日午後）、神経内科も岩手医科大学からの応援をいただき火曜日午後に診療を行った。眼科は毎週月曜日午後に診療を行った。整形外科は北上済生会病院からの応援をいただき、毎週木曜日午後に診療を行った。循環器内科は毎週木曜日午前に診療を行った。呼吸器内科を新設し、毎週月曜日午前に診療を行った。

昨年同様に、早朝診療・訪問診療・土曜日診療の実施、検診等の積極的受入れ、企業の産業医としての医師派遣、地域医療連携のため県立病院等へ医師を派遣する診療応援を行うことで、利用者サービスの充実を図った。

インフルエンザ予防のため町内企業の従業員へのワクチン接種を実施した。

また、令和2年度に開始した発熱外来での新型コロナウイルス感染症に係る抗原検査・PCR検査を引き続き実施するとともに、診療所での新型コロナウイルスワクチン接種を実施した。

#### 1. 診療所の状況

##### (1) 診療科目（令和5年3月31日現在）

内科、泌尿器科、外科、肛門外科、婦人科、神経内科、眼科、整形外科、循環器内科、呼吸器内科

##### (2) 職員数（令和5年3月31日現在）

(単位：人)

職種	区分		
	正 規	非常勤	計
医 師	3	0	3
看 護 師	6	1	7
薬 剤 職 員	1	1	2
医療技術員	2	3	5
事務職員	3	1	4
計	15	6	21

## 2. 部門別活動状況

### 内 科

内科長 加藤 喜信

令和4年度も内科外来は医師の体制が変わることなく、診療を継続することができました。

令和4年度実施した消化器内科としての検査は、上部消化管内視鏡検査 426 例、下部消化管内視鏡検査 128 例でした。

上部消化管内視鏡検査は昨年と全く同数で、ほぼ例年並みの件数を施行しました。食道癌を1人、7人に胃癌を見つけ、そのうち2人は早期胃癌でした。昨年は4人に胃癌を見つけ、そのうち3人は早期胃癌だったので、昨年より進行癌を多く発見したことになると思われます。早期胃癌の2人は胆沢病院消化器内科を紹介し、内視鏡的に治療を受けることができました。新型コロナが流行して以来、外来・検査とも減少の傾向にあり、結果として進行胃癌の発見が増えた可能性があると思われます。癌検診で異常を指摘された人や、ピロリ除菌後など胃癌のリスクのある人は積極的に上部消化管内視鏡検査を行い、胃癌の早期発見を心がけたいと思います。

下部消化管内視鏡検査は昨年 92 例より 36 件増え、大腸癌を4例発見し、いずれも進行大腸癌でした。昨年の下部消化管内視鏡検査では大腸癌を認めず、大腸癌検診が少なかったことによる大腸癌の見逃しが心配されましたが、今年は件数が増えたことでやはり大腸癌発見の機会も増えたものと考えられます。

令和4年度の内視鏡検査では胃癌のほうが大腸癌より多く見つかりましたが、全国的には大腸癌のほうが胃癌より多い傾向にあり、大腸癌の見逃しを防ぐためにも、下部消化管内視鏡検査の件数を増やす必要性を感じております。しかし、新型コロナ感染が一段落し5類に格下げになったものの、今年度も発熱外来や新型コロナワクチン接種は引き続き対応しなければならないため、内視鏡検査は時間的・人的に制限が続いております。何とか必要な検査は施行できるよう工夫していこうと思います。

今年度は、より多くの検査を行い、癌の見逃しを減らすよう努力したいと思います。

# 神 経 内 科

担当看護師 石母田 陽子

令和4年度は、岩手医科大学付属病院脳神経内科より大浦一雅先生の応援をいただき、毎週木曜日午後の診療を行うことができました。患者数は昨年度同様の153名でした。今年度も昨年度同様、所内の各科からの紹介に加え、数名ではありますが近隣医療機関からの紹介がありました。1日平均患者数は約3人で、おもな症状は、手足のしびれ、めまい、ふらつき等でした。

今年度も引き続き岩手医科大学付属病院脳神経内科より大浦一雅先生に応援いただきます。今後も各科と協力しながら患者数の増加に取り組んでいきたいと思っております。

神経内科の診療は以下のとおりです。

診療医師	大浦 一雅 先生
診 察 日	毎週木曜日午後
受付時間	15時30分まで
診療時間	14時～16時30分まで（受付された方が終了するまで）

# 呼吸器内科

担当看護師 新岡 蘭

令和4年度より、北上済生会病院呼吸器内科の小川純一先生に応援をいただき、呼吸器内科の診療を開始しています。毎週月曜日の午前に診療を行っており、令和4年度の患者数(延べ人数)は、220人(うち初診71人)で、所内各科からの紹介に加え、結核検診で異常を指摘され受診される患者様や、SARS-CoV-2感染症罹患後で不調が続く患者様の受診等が多くみられました。

所外にて精査や加療が必要な場合は、近隣の医療機関へ紹介し、速やかに治療が受けられるよう援助ができました。

令和4年度 検査・処置件数

検査・処置	件数
肺気量分画・フローボリュームカーブ	13件
CT(造影含む)	42件

# 循環器内科

担当看護師 高橋 須磨

令和4年度も引き続き、佐藤紀夫先生に応援をいただき、毎週木曜日の午前に診療を行うことができました。1日平均15人程度の患者様が来院しており、心房細動、心室性期外収縮、うっ血性心不全など病気の診断治療が中心でした。入院が必要な患者様は他病院へ紹介するなど、スムーズな連携を図っています。

◇令和4年度患者数（延べ人数）：702人

上記のうち初診：47人

ホルター心電図検査数：32件

心エコー図検査数：35件

# 外 科

外科長 古田 一裕

外科診療内容は消化器一般外科、整形外科疾患、癌一般の診断および癌終末期の在宅管理を主に行っています。

消化器一般外科としては消化器疾患、肛門疾患、外傷、体表の腫瘍、褥瘡、皮膚疾患、爪の疾患、熱傷を主な診療対象としています。創処置、熱傷に関しては可能な症例には閉鎖湿潤療法を心がけて診療しています。また褥瘡に関しては解放湿潤療法を主に行っています。巻き爪に対しては主に矯正治療のコレクティオを行っていますが、難治症例に関してはフェノール法を行っています。

肛門疾患に関しては診断と保存的治療を行っています。内痔核に対しては四段階注射療法（ジオン注射療法）の導入を準備しましたがまだ施行していません。手術が必要な症例に関しては手術可能な近隣外科に紹介をしています。

整形外科疾患に関しては骨折、腰痛、肩関節周囲炎、骨粗鬆症、脊柱管狭窄症、変形性膝関節症の診察をしています。加えて平成30年7月より、月2回の非常勤医師による整形外来が開始され、令和2年4月より毎週の診察となっています。専門的な加療を必要とする整形外科疾患、緊急を要さない骨折が当院でも診療可能になりました。江刺病院整形外科、胆沢病院整形外科、北上済生会病院整形外科、県立中央病院整形外科に紹介し診断および治療の確定をした後に当科での経過観察とするようにしています。人口構成の高齢化にともなってさらに整形外科疾患の診察の需要が昨年にも増して増加し、今後もさらに高まると思われます。

癌の診療に関しては内科、加藤先生の協力のもと上部消化管内視鏡検査、下部消化管内視鏡検査を積極的に行っています。また癌末期の在宅診療、在宅緩和ケア、看取りも積極的に行っています。県立胆沢病院、県立中部病院の化学療法の補助（GCSFの投与）も行うようにしています。また乳がんのホルモン療法の依頼もあり、今後徐々に増加すると思われます。

昨年度より高齢者の転倒による頭部外傷に対して積極的な頭部CT撮影をしています。今年度も頭蓋内出血、頭蓋骨骨折、顎骨骨折を伴う症例を認め、近隣脳外科・形成外科への紹介を行っています。今後も継続して撮影を行うこととしています。

診療実績は令和4年度外科年報でみると前年度と比べて外科関連疾患数は微増増加傾向にあります。新型コロナの流行で受診を控える傾向にあるなか、外科の受診者数が増加したのは町内で外科対象疾患の初診施設として周知されつつあるものと考えられます。

◇令和4年度 外来診療実績 ※( )内は前年度実績

創処処置、小手術	66	(74) 件	抜爪、爪周囲炎	34	(44) 件
2度熱傷以上	52	(16) 件	切開排膿	22	(20) 件
コレクティオ	0	(2) 件	肛門鏡検査	14	(15) 件
肛門疾患患者数	138	(164) 件	骨粗鬆症患者数	513	(537) 件
骨折の診断	62	(68) 件			

◇出席学会等

ハイブリット参加

日本外科学会、日本胃癌学会、日本乳癌学会、日本大腸肛門病学会、全国国保地域医療学会

現地参加

日本地域医療学会

# 整形外科

担当看護師 新岡 蘭

令和4年度は、北上済生会病院整形外科の及川諒介先生に応援をいただき、毎週木曜日午後に診療を行うことができました。

変形性膝関節症、変形性股関節症の患者様をはじめ、脊柱管疾患の患者様、骨折や骨粗鬆症、慢性的な疼痛や痺れで悩まれている患者様など、様々な疼痛・苦痛を抱える患者様が受診しています。

また、これまでは近隣の市町村の整形外科へ通院することが可能であった患者様が、高齢となったために通院困難を訴え受診する患者様も増えており、予約枠限度の人数を受け入れることも多くなっています。令和4年度の患者数(延べ人数)は、753人(うち、初診113人)でした。

MRI 検査が必要な患者様においては、奥州市総合水沢病院や北上済生会病院との連携で精査・診断が可能となっています。手術が必要な患者様においても、北上済生会病院や県立中部病院等、近隣の医療機関との連携をはかることで、スムーズに治療が開始できています。

## ◇令和4年度 検査・処置件数

検査、処置	件数
トリガーポイント	51件
関節腔内注射	122件
X線	146件
CT(委託MRI含む)	15件

# 泌尿器科

泌尿器科 阿部 俊和

地方の診療所の特性として、専門の領域を超え、患者様を全人的に診る必要性に迫られます。私は泌尿器科、腎臓内科、透析医療に関する専門医ですが、日常の診療においてはむしろ内科的な患者様を診る機会の方が多くなります。高血圧症、脂質異常症、糖尿病等の生活習慣病を始め、周辺病院からの紹介で心疾患や呼吸器疾患、整形外科疾患等のフォローにも対応させていただいております。

しかしながら、腎泌尿器科疾患の患者様が新患でいらっしゃいますとわくわくしながら診察に当たっております。当診療所は小さな診療所であり手術等には対応しておりませんが、幸いCTや腹部並びに経直腸超音波検査装置、尿流測定器、残尿測定器、軟性尿道膀胱鏡セットなどの泌尿器科疾患に対応する機器は充実しており、ほぼ診断には事欠きません。腎癌、膀胱癌、前立腺癌など当科で発見した専門的治療が必要な患者様に関しては胆沢病院や中部病院、総合水沢病院、江刺病院など患者様の希望と対応可能な疾患を考慮し紹介させていただいております。当診療所と周辺病院群とは病診連携が良好に図られており、治療後は逆紹介され当科でのフォローを行っております。

今後も専門性の高い医療が提供できる様に自己研鑽を続けたいと思います。

## ◇主な検査

膀胱鏡検査：11件

前立腺生検：2件

尿流測定：44件

残尿測定：138件

超音波検査：68件

自己導尿患者数：9名

膀胱瘻患者数：2名

Foley カテーテル留置患者数：17名

# 婦 人 科

担当看護師 木村 優李

令和4年度は、岩手医科大学教授の福島明宗先生と板持広明先生の2名の医師の応援により、月4回の診療を行うことができました。

婦人科の開設日数が増加したこともあり、一日平均患者数は約6人と昨年度よりも減少傾向となりました。また、昨年度と同様、町民検診後の9～10月以降に患者数が増加傾向でした。

受診目的として、精密検査、リングペッサリー使用のための処置等経過観察、更年期障害、月経不順、膣炎等でした。

精密検査件数は前年度と同程度ではありますが、定期的に子宮筋腫や卵巣のう腫等で経過観察する患者様が定着してきております。手術や継続的治療が必要な方は盛岡赤十字病院や岩手県立中部病院へ紹介し、スムーズな連携を図ることが出来ました。

婦人科では、さまざまな悩みを抱え、年齢や羞恥心で相談できずにいる方も多いと思われます。小さな悩みでも相談できる環境を作っていきたいと思っております。

## ◇令和4年度検査件数

検査項目	件数
子宮頸部細胞診	39件
子宮内膜細胞診	8件
超音波検査	57件
その他（CT造影等）	5件

# 眼 科

看護師 高橋 須磨

眼科は平成30年2月に開設し、約5年が経過しました。診療時間は毎週月曜日の午後1時30分から午後4時30分の受付となります。

1週間に1度午後のみ診療となりますので、視力・眼圧測定、精密眼底検査、眼底カメラ撮影等検診を中心とした診察となります。月1回の視能訓練士による眼鏡矯正を開始し、眼鏡処方も行っております。

診察のうえ、白内障で手術が必要な方や、緑内障で継続的に治療が必要で視野検査が必要な患者様は北上済生会病院へ紹介いたしております。手術後のフォローを当所で行うことにより患者様の負担の軽減につながっているものと考えます。また地域連携として県立胆沢病院や北上済生会病院よりご紹介頂くこともあり、今後さらに連携を深めていきたいと考えております。

来院する方は、遠方まで通院することが困難な方が多く、身近な存在としてご利用頂けるよう努めていきたいと思っております。

◇令和4年度 患者数（延べ人数）：538人

上記のうち初診：140人

◇令和4年度検査件数

検査項目	件数
鼻涙管ブジー	23件
涙管通水、通色素検査	5件
眼底カメラ	97件
眼底三次元	36件
矯正視力	262件
屈折検査	124件
細隙灯顕微鏡検査	535件
精密眼圧	316件
精密眼底	340件

# 歯 科

歯科長 高橋 通訓

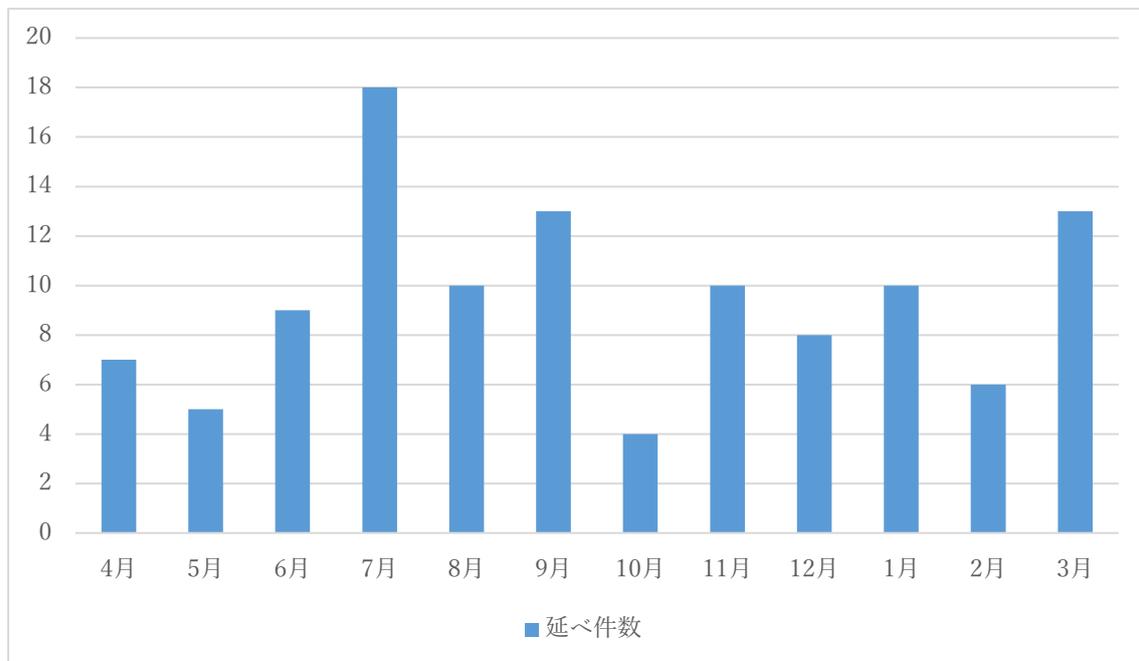
2022年2月コロナ第6波、そして4年度になり夏に第7波、年が明けて第8波、令和4年度もコロナ禍は終息しませんでした。歯科においては歯科麻酔薬の供給不足が常態化（コロナワクチン生産の影響）、麻酔の使用頻度はかなり高いため、精神的物理的に厳しい綱渡りの一年でした。

一方、訪問歯科診療は前年度より36%伸びました。国保診療所として役目を果たしているのかなと考えております。

金ヶ崎町に赴任して以来、町内全ての幼稚園の歯科検診を担当してきましたが、令和3年度で永岡幼稚園が閉園となりました。30年あまりの間に赤門幼稚園、金ヶ崎幼稚園、西幼稚園も閉園となり、三ヶ尻幼稚園も令和6年度に閉園が決まりました。保育園が増えたとはいえ全体では子供の数が減少しており寂しい限りです。

令和5年度から、会計年度任用職員も配置が変わり、また1名のスタッフで診療の全てをしていかなければなりません。子供の数だけではなく、専門職の人材不足も深刻で全国的にも好転は望めません。今後の大きな課題です。来年度も限られた条件の中で工夫をしながらやっていきたいと思っております。

## ◇令和4年度 訪問歯科診療月別延べ患者数



## 令和4年度 歯科保健活動実績

		日付	曜日	場所	内容	対象者
口腔診査						

1歳6ヶ月・3歳6ヶ月歯科健診						
1	R4	4月20日	水	保健センター	1歳6か月健診	11名
2		4月26日	火	保健センター	3歳6か月健診	7名
3		6月1日	水	保健センター	1歳6か月健診	17名
4		6月7日	火	保健センター	3歳6か月健診	12名
5		7月20日	水	保健センター	1歳6か月健診	14名
6		7月26日	火	保健センター	3歳6か月健診	11名
7		8月30日	火	保健センター	3歳6か月健診	10名
8		9月21日	水	保健センター	1歳6か月健診	11名
9		10月19日	水	保健センター	1歳6か月健診	5名
10		10月25日	火	保健センター	3歳6か月健診	16名
11		12月13日	火	保健センター	3歳6か月健診	10名
12		12月21日	水	保健センター	1歳6か月健診	13名
13	R5	1月17日	火	保健センター	3歳6か月健診	18名
14		1月18日	水	保健センター	1歳6か月健診	9名
15		2月28日	火	保健センター	3歳6か月健診	12名
16		3月1日	水	保健センター	1歳6か月健診	22名
						合計 198名

幼稚園歯科健診						
1	R4	5月17日	火	南方幼稚園	幼稚園児歯科健診	年長34名
2		5月25日	水	南方幼稚園	幼稚園児歯科健診	年少31名(欠席2名)
3		5月31日	火	南方幼稚園	幼稚園児歯科健診	年少20名(欠席3名)+年中2名
4		6月8日	水	三ヶ尻幼稚園	幼稚園児歯科健診	12名
5		6月14日	火	六原幼稚園	幼稚園児歯科健診	21名(欠席1名)
6		7月25日	月		幼稚園児歯科健診	南方(年長)健診未受診1名
7		8月9日	火		幼稚園児歯科健診	南方(年少)健診未受診1名
8		8月9日	火		幼稚園児歯科健診	三ヶ尻健診未受診1名
						合計 123名

各種講座						
1	R4	6月23日	木	お休み処かみしも	出前講座	
糖尿病教室						
個別地域ケア会議						

各種検診						
1	R4	4月5日	火		人間ドック	1名
2		4月8日	金		個人健診	1名
3		8月24日	水		人間ドック	1名
4		11月1日	水		人間ドック	1名
5		11月2日	木		人間ドック	1名
6		11月17日	木		人間ドック	1名
6		12月27日	火		人間ドック	1名
6	R5	1月31日	火		人間ドック	1名
						合計 8名

2歳半歯科健診						
1	R4	4月			2歳半歯科健診	4/4.6.12.15.19.22.25
2		5月			2歳半歯科健診	5/18.27
3		6月			2歳半歯科健診	6/3.6.8.13
4		7月			2歳半歯科健診	7/7.11.13.15.26.27
5		8月			2歳半歯科健診	8/4.5.9.18.22.24.30
6		9月			2歳半歯科健診	9/5.6.21
7		10月			2歳半歯科健診	10/12.17.19.20.21.24.25.26.27
8		11月			2歳半歯科健診	11/18.21.22.24.28
9		12月			2歳半歯科健診	12/2.5.14.16.20.23.27
10	R5	1月			2歳半歯科健診	1/10.12.13.20.23.25.31
11		2月			2歳半歯科健診	2/2.3.6.9.13.15.17.20.22.27
12		3月			2歳半歯科健診	3.22.28.30.31
						合計 89名

成人歯科検診						
1	R4	6月			成人歯科検診	6/20.23.28.30
2		7月			成人歯科検診	7/12.27.29
3		8月			成人歯科検診	8/1.24
4		9月			成人歯科検診	9/29
5		10月			成人歯科検診	
6		11月			成人歯科検診	11/2.10.11.24.28
7		12月			成人歯科検診	12/20.23.27.28
						合計 24名

75歳 歯科健診						
1	R4	6月			75歳歯科健診	6/6.23
2		7月			75歳歯科健診	7/22.29
3		8月			75歳歯科健診	8/23
4		9月			75歳歯科健診	9/7.30
5		10月			75歳歯科健診	10/18.24.25
5		11月			75歳歯科健診	11/18
5		12月			75歳歯科健診	12/12.20
						合計 13名

妊婦歯科健診						
1	R4	6月			妊婦歯科健診	6/14.20
2		9月			妊婦歯科健診	9/9
3	R5	1月			妊婦歯科健診	1/25
4		3月			妊婦歯科健診	3/24
						合計 5名

# 禁 煙 外 来

担当医師 阿部 俊和

担当看護師 小野寺利佳

令和4年度3月末までの禁煙外来受診者は2名でした。男女各1名となっております。結果は1名が途中喫煙してしまい離脱、1名は現在も継続中となっております。

令和3年度は禁煙治療者が0人、令和4年度も2名と治療人数は増えているものの喫煙による健康被害の意識が薄らいでいるのではと感じています。また、コロナ禍において受診を躊躇している方もいたのではと思います。

今後も禁煙の重要性を改めて周知して頂けるようポスター掲示等を利用し啓発活動を行っていただければと思っております。

# 訪 問 診 療

担当看護師 高橋 須磨

令和4年度は昨年度同様、阿部所長、古田副所長、加藤内科長の医師3人と看護師6人合わせて9人体制で訪問診療を行いました。高齢化社会に伴い在宅医療へのニーズが高まる中、病院に通うのが困難になる方や、病気や障がいがある通院が困難な患者様のもとに伺い、定期的に診察を行っています。

令和4年度も昨年度同様、週3回訪問診療を行うことができ、訪問申請件数は63名となりました。うち、今年度の新規申請人数は昨年度よりの4名減少の24名でした。通常訪問診療は月に1～2回の対応をしていますが、患者さんの容体の変化に応じ足を運ぶことが何度かあり、訪問延べ回数は90回となりました。また、訪問看護ステーションとの連携のもとに、自宅で亡くなられた患者様は15名でした。自宅での看取りは家族の負担もありとても簡単なことではありません。しかし、住み慣れた家で過ごしたい、また自宅で最期を迎えたいという患者様の気持ちとご家族の心に寄り添いながら、今後も安心できる医療を提供して行きたいと思えます。

◇令和4年度 訪問診療等集計表

		月												合計	R3 年度	R2 年度
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
訪 問 診 療	訪問診療申請者数	41	40	40	39	39	39	38	39	37	36	37	41			
	訪問実人数	34	33	35	36	35	37	35	37	34	34	32	39			
	訪問延人数	35	33	35	36	35	37	36	38	35	35	32	41	428	469	414
	訪問延回数	8	7	7	8	8	7	7	7	8	8	7	8	90	102	94
	新規依頼患者数	2	0	2	2	1	4	1	3	2	1	2	4	24	30	32
	自宅看取り	0	0	1	0	3	2	2	3	2	1	0	1	15	8	16
	施設（入院含）入所者数	4	4	3	2	1	1	0	1	1	1	2	1	21	19	20
	訪問終了人数	1	2	3	1	4	2	2	4	2	1	0	1	23	24	30

# 患者紹介、逆紹介

担当看護師 石母田 陽子

令和4年度の他病院への紹介患者は前年度より6人増の244人、逆紹介患者は42人減の123人でした。紹介患者は入院に必要な重症患者、消化器のポリープ切除術、前立腺手術目的の紹介が多くを占めており、紹介先は主に県立胆沢病院、県立中部病院、総合水沢病院でした。また前年度同様、眼科から精査加療目的のため北上済生会病院への紹介が多くみられました。逆紹介では主に近隣の医療機関から、近医でのフォローアップ目的で紹介して頂きました。救急搬送患者は、昨年度より1人減の20人でした。

## 1. 紹介患者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県立胆沢病院	11	8	15	8	11	12	19	5	10	8	18	9	134
総合水沢病院	1	1	1	0	0	2	2	0	1	0	1	0	9
県立江刺病院	1	1	0	0	1	3	0	1	1	0	0	0	8
県立中部病院	2	1	1	2	6	4	5	1	4	1	2	3	32
北上済生会病院	5	4	4	4	3	2	3	1	6	3	1	3	39
その他	2	1	6	1	1	0	4	0	1	0	2	4	22
累計	22	16	27	15	22	23	33	8	23	12	24	19	244

## 2. 逆紹介患者数

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県立胆沢病院	8	8	5	6	12	1	1	5	1	4	4	6	63
総合水沢病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
県立江刺病院	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
県立中部病院	0	0	0	2	0	0	1	1	1	0	3	2	9
北上済生会病院	1	3	0	0	0	2	0	1	0	0	2	1	9
その他	2	3	1	2	7	4	2	0	1	4	6	4	39
累計	11	15	6	10	19	8	4	8	3	8	16	13	123

### 3. 救急搬送数 (単位：人)

県立胆沢病院	19
総合水沢病院	0
県立江刺病院	0
県立中部病院	1
まごころ病院	0
累計	20

# 訪問看護ステーション

訪問看護係長 千田 瑞穂

令和4年度訪問看護ステーションの職員体制は、看護師常勤専従3名と常勤兼務6名で、指定訪問看護ステーションの人員基準の3名体制で行いました。

訪問看護利用状況は、訪問実人数が64名で前年度より8名減少し、訪問延人数は1,919名と前年度比で242名の減少となりました。減少の内訳として前年度比較で、医療保険対象者の延人数は59名減少、介護保険対象者の延人数は183名の減少でした。医療保険対象者および介護保険対象者ともに延人数が減少した理由としては、①病状安定により訪問回数が減少したこと、②今まで長期に訪問看護を利用していた利用者が亡くなり終了したこと、③新規利用者が入院や入所、死亡により短期間で終了となり延人数の拡大に結びつかなかったことなどが挙げられます。

関係機関や他職種との連携強化において、対面でのサービス担当者会議や退院時カンファレンスの開催はコロナの影響で減少傾向でしたが、サービス担当者会議は10回、退院時カンファレンスに5回出席し（胆沢病院、中部病院、まごころ病院、北上済生会病院）、より良い在宅療養生活の継続や退院後のスムーズな在宅療養、訪問看護サービスの提供につながるよう努めました。

その他の業務として、岩手県立大学看護学部学生4名、水沢学苑看護専門学校学生9名の実習を受け入れ、学生の指導にあたりました。

# 地域保健活動

医療係

地域住民の健康増進を図るため、保健事業を実施しました。

## 1. 保健活動

事業名	内容	担当者	人数
BCG予防接種	乳児を対象とした集団予防接種	医師、看護師、保健師	6回 86人
乳幼児歯科検診	1歳6カ月児歯科健診 2歳6カ月児歯科健診 3歳6カ月児歯科健診	歯科長、歯科衛生士	311人
骨粗しょう症検診	DEXA法による骨塩量測定	医師、放射線技師	215人
歯科検診	成人歯科検診 21人 後期高齢者歯科健診 11人 妊婦歯科健診 11人	歯科長、歯科衛生士	43人
金ヶ崎診療所健康増進運動教室	健康増進及び介護予防のためのストレッチ、筋力トレーニング	講師：(一財)金ヶ崎町生涯スポーツ事業団インストラクター	41回 1,239人

# 看 護 科

看護師長 小野寺 利佳

## 1. 看護体制

看護師数 7名 (看護師長 1名 主任看護師 1名 看護師 4名 会計年度任用職員 1名)

## 2. 看護科基本方針

- 1) 安全で安心な医療と看護を提供します
- 2) 医療事故を防止します
- 3) 住民の健康な生活の実現のため、看護領域の展開を行います
- 4) 健康講演会などで知識、意識の啓発を図ります
- 5) 保健医療福祉関係者との積極的な連携を図り協働して看護を提供します

## 3. 令和4年度の活動と成果

令和4年度も昨年度同様異動もなく7名のスタッフで業務を行いました。

日常の診療に加え、医療関連イベントとして年2回、所内にポスター展示を行いました。また、糖尿病教室については昨年度同様糖尿病通信の発行となりました。更に、平日午後の発熱外来と新型コロナウイルスワクチン接種の対応となり限られた人数で事故もなく従事することができました。また、土曜日と日曜日の集団接種にも各自可能な限り協力することができ良かったと思います。

令和4年度は出前講座には対応しませんでした。要望があれば対応していきたいと思っております。

- |             |                                   |
|-------------|-----------------------------------|
| 1) 糖尿病教室    | 糖尿病教室通信 6回発行                      |
| 2) 医療関連イベント | 5月12日「看護の日」イベント<br>9月9日「救急の日」イベント |

# 診 療 放 射 線 室

診療放射線技師 佐々木 清光

## (1) 診療放射線室の業務内容

診療放射線部門は、「人に優しく心に温かい地域医療の提供に努めます」を理念に、

1. 患者様の視点に立って行動します。
2. 常に最善の方法を選択する医療を行います。
3. チーム医療を推進します。

を基本方針として業務を行っています。

主な設備は、一般撮影装置・骨密度測定装置・X線TV装置・X線CT撮影装置です。

撮影業務は、保険診療に加えて事業所健診・住民検診・介護福祉施設入所者検診等に、積極的に取り組みました。

令和4年度の撮影件数は、前年度と比べて、一般撮影検査 2%増、骨密度検査 6%減、X線TV検査 19%減、X線CT検査 増減なし となりました。

前年度から人間ドックのエコー検査（腹部エコー検査）のみ、診療放射線技師（臨床検査技師）が行っております。今後とも、皆様の健康維持の一助になればと思います。

## (2) 令和4年度の業務統計

項目	一般撮影検査		骨密度検査		X線TV検査		X線CT検査	
	件数	件数/日	件数	件数/日	件数	件数/日	件数	件数/日
4月	112	5.6	72	3.6	5	0.3	28	1.4
5月	103	5.4	74	3.9	8	0.4	36	1.9
6月	136	6.2	90	4.1	11	0.5	34	1.5
7月	114	5.7	40	2.0	7	0.4	31	1.6
8月	296	14.1	176	8.4	8	0.4	66	3.1
9月	116	5.8	158	7.9	9	0.5	44	2.2
10月	144	7.2	50	2.5	5	0.3	31	1.6
11月	159	8.0	72	3.6	10	0.5	39	2.0
12月	302	15.1	100	5.0	6	0.3	45	2.3
1月	96	5.1	30	1.6	8	0.4	26	1.4
2月	86	4.5	40	2.1	6	0.3	35	1.8
3月	139	6.3	100	4.5	9	0.4	39	1.8
累計	1803	8.2	1,002	4.6	92	0.4	454	2.1

# 検 査 室

主任臨床検査技師 亀井 浩

## ◇検査室基本方針

1. 患者さまへ信頼のおける検査を心がける
2. 精度の向上と質の高い迅速なデータを提供する
3. 専門知識の習得、技術の研鑽に努める

## ◇業務動向

呼吸器内科が新設され、肺機能検査等の生理検査数が約 10%の増加となりました。

コロナウイルスの感染拡大により、外来は一年を通して午前は診療、午後は発熱外来とワクチン接種の対応となり、また、午後に行っていた健康診断は午前中に行う事としました。発熱外来のコロナウイルス検査は、外注のPCR検査のみ行っていましたが受診者の増加に対応するため検査室にて定性検査を行う事となりました。検査数は昨年度と比較して約 5%増加し、収益にも大きく貢献できたと思います。

## ◇検査機器の更新

今年度の更新機器はありませんでした。

## ◇令和 4 年度検査実績

検査項目	件数 (項目数)
生化学検査	41,263
一般検査	17,559
血液学的検査	14,990
血清学的検査	3,794
生理学的検査	1,032
委託検査	3,349
合計	81,987

\*検査項目は診療報酬点数算定単位

## ◇令和 4 年度参加 臨床検査精度管理調査

岩手県医師会  
岩手県臨床衛生検査技師会  
デタミナーサーベイ  
栄研サーベイ  
セキスイコントロールサーベイ  
ニッターボーメディカルサーベイ

# 薬 局

薬剤師 小野寺 甲仁

薬剤師の主な業務は以下のとおりです。

## 1 薬品・診療材料の購入及び管理

見積り、発注、在庫管理によって診療が円滑に実施されるよう心掛けています。

在庫管理はレセプトと連動しており、毎月末に棚卸を行っています。

## 2 医薬品情報管理（D I）業務

医薬品安全対策情報、製薬会社発行文書を所内で回覧し、最新情報の共有化を図っています。医薬品に関する問い合わせについては、製薬会社のホームページを確認するなどして、迅速かつ適切な回答に努めています。

## 3 所内勉強会の開催

主に診療所職員を対象に、製薬会社の担当者に講師を依頼して開催しています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、合計2回の開催となりました。

## 4 学校薬剤師業務

令和4年度は町内2小学校、1幼稚園、1給食センターを担当しました。

環境衛生検査、薬物乱用防止教室を実施しました。

## 5 個別ケア会議

隔月開催の個別ケア会議にアドバイザーとして出席し助言を行っています。

## 6 その他

予防接種に係る業務。

各種請求業務。

糖尿病通信の発行。

出前講座の対応。

# 外来栄養指導

管理栄養士 箱崎 栄里

下記のとおり外来患者の方に栄養指導を行いました。

## 1 年代、性別人数

(人)

年代	男性	女性	合計
20 歳代	0	0	0
30 歳代	1	0	1
40 歳代	3	0	3
50 歳代	2	2	4
60 歳代	3	2	5
70 歳代	1	3	4
80 歳代	1	2	3
合計	11	9	20

## 2 病態別人数 (重複あり)

(人)

疾病名	人数
糖尿病	11
脂質異常症	11
高尿酸血症	0
高血圧症	8
肥満症	1
肝機能障害	0
腎不全	1
心不全	1
合計	33

# 人間ドック・検診部門

看護師長 小野寺 利佳

令和4年度も昨年度同様にドック・事業所健診・受託検診として金ヶ崎町役場職員の結核検診、胃内視鏡検査、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検査、高齢者施設の結核検診を行いました。

事業所健診については前年度より63名の増、特定健診については12人の増とそれぞれ受検者が増えています。事業所健診については新規の事業所の申し込みがあったことに加え1日の受け入れ人数を押さえながらも常に実施できたことが要因に挙げられると思います。特定健診については事業所からの依頼で定期健診と合わせて行うことが数件あったこと、今まで受けていた医療機関で受けることができなくなってきた方が受診したことが要因にあると思います。人間ドックについては昨年度同様となっております。

健康診断については新型コロナウイルスの2類から5類への引き下げに伴い増加が予想され可能な限り対応をしていきたいと思っております。

今年度の件数は以下の通りです。

検診内容		受検者数
人間ドック		10名
事業所健診		795名
特定健康診査		53名
金ヶ崎町職員検診	結核検診	176名
	胃内視鏡検査	74名
	骨粗鬆症検診	2名
	肝炎ウイルス検査	28名

# 早 朝 診 療

担当看護師 伊藤 舞

平成 21 年 7 月から早朝診療を開始しております。令和 4 年度は昨年度と比較して、15 人増の患者総数 225 人でした。

今年度の受診内容は、空腹時の血液検査、通勤前の定期受診、外科の処置が中心でした。対象者は金ヶ崎町内に勤務されている方や学生の利用が多く見受けられました。

今後も患者数増加を目標に、引き続き所内掲示の工夫、広報活動を行い、多くの方々に受診されるよう環境づくりに努めていきたいと思っております。

(単位:人)

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
21 年度	0	0	0	26	10	11	9	26	19	6	10	11	128
22 年度	13	11	7	4	15	10	14	12	20	22	15	12	155
23 年度	8	20	20	16	17	29	15	17	14	15	28	20	219
24 年度	20	18	14	21	27	24	19	30	27	28	19	42	289
25 年度	25	22	31	36	20	27	25	25	26	19	19	19	294
26 年度	20	21	13	20	12	15	14	18	40	19	17	15	224
27 年度	22	12	15	15	12	9	19	15	21	22	32	22	216
28 年度	14	17	25	17	13	11	15	16	11	11	15	11	176
29 年度	6	18	17	10	5	8	5	9	10	9	12	13	122
30 年度	13	7	11	11	12	6	19	7	13	21	11	9	140
元年度	23	4	10	10	10	10	7	7	16	7	8	12	124
2 年度	7	14	15	18	7	7	9	10	10	7	11	19	134
3 年度	21	10	11	11	14	15	19	25	35	15	11	23	210
4 年度	26	22	15	17	15	18	26	17	16	14	15	24	225

# 土曜診療

担当医師 古田 一裕

平成 23 年 7 月より土曜診療を行っています。診療体制は医師の診察のみを行い X 線検査、臨床検査は行なっていません。平成 23 年 11 月より住民サービスの一環として予約制でワクチン接種を開始しています。

平成 25 年度も前年度同様の体制で開始したが平成 26 年 1 月より医師の勤務体制の変化により偶数週土曜日、午前だけの診療に変更されています。

令和 4 年度の土曜診療月平均受診者数は約 26.6 人（令和 3 年度 16.6 人、令和 2 年度 14.9、令和元年度 22.5、平成 30 年度 25.3 人、平成 29 年度 18.1 人）、また一日平均受診者数は平均約 13.3 人（令和 3 年 16.6 人、令和 2 年度 14.8 人、令和元年度 10.8 人、平成 30 年度 12.7 人、平成 29 年度 9.08 人）となっています。

平成 26 年度からは月 2 回の診療のため、受診患者数は平成 27 年度まで減少傾向にあったが、その後受診者数は増加傾向にあったが平成 29 年度は減少しました。平成 30 年度は一度増加したが、令和元年度は減少し令和 2 年度は増加しました。令和 4 年度は令和 3 年度と同様に新型コロナの流行でインフルエンザワクチン接種が土曜診療で行われました。接種増加が 1 日平均の受診者数増加に寄与したと思われます。

住民サービスとして開始した土曜診療ワクチン接種は令和 4 年度延べ 255 人（令和 3 年度 268 人、令和 2 年度 250 人、令和元年度 142 人、平成 30 年度 154 人、平成 29 年度 81 人）に施行されています。

## ◇令和 4 年度 土曜診療ワクチン接種実績

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
アクトヒブ													0
プレベナー													0
ニューモバックス										1			1
麻疹風疹		1							1	1			3
子宮頸癌	1			3	5	4	8	9	3	2	1	4	40
B 型肝炎		1											1
ムンプス		2											2
破トキ						1							1
水痘						1					1		1
日本脳炎		4	2	8	3	6	7		3	4		3	40
DT				2									2
不活化ポリオ													0
麻疹													0
四種混合													0
インフルエンザ							19	87	57	2			165
合計	1	8	2	13	8	11	34	96	64	10	1	7	255

# 物 理 療 法

担当看護師 村上 郁恵

令和4年度は、総利用件数が前年度よりも若干増加したものの874人とどまりました。一日平均利用人数は4.0人でした。

令和4年度も、コロナワクチン・発熱外来対応等により午後の外来診療を行っていない（応援診療除く）ことやコロナ感染症の心配などが、利用される患者様が減少している理由の一つと考えます。

そのような状況でも、やはり農作業の時期は利用される患者様が多く、肩こり・慢性期腰痛・急性期腰痛に対し低周波やウォーターベッドなどによる治療を行っています。

利用される患者様個々の症状を把握し、症状緩和につながるよう努めていきたいと思っております。

## ◇令和4年度 物理療法実施表

(単位：件、人数)

実施項目	件数	1日平均人数※
熱気浴	0	0
牽引(腰)	8	0.04
(頸)	43	0.2
ウォーターベッド	303	1.4
低周波	375	1.7
ホットパック	145	0.7
総利用数	874	4.0
前年度	821	3.6

※土日、祝祭日を除く

# 発熱外来

担当医師 阿部 俊和

令和4年度におきましてもコロナ禍は続いており、昨年度に引き続き発熱外来を継続致しました。一般患者と時間、空間が交わらないように発熱外来は午後に行いました。月曜日から金曜日の午後に、主としてドライブスルー形式で行いました。看護師の待機スペースのプレハブ小屋は冷暖房施設を設置し、真冬や真夏でも対応できるように致しました。車で来られない患者様に関しては令和2年度にへパフィルターを設置した発熱者対応室で診察いたしました。昨年度まではPCRを主体として行っておりましたが、抗原検査の感度が思いのほか良好であり、またPCRでは外注ゆえ翌日以降の結果報告となるため、まずは抗原検査を行い、陰性であり患者様が希望する場合に限りPCRに回す方法に改めました。年度の後半はインフルエンザの流行もあり、インフルエンザ、COVID-19同時測定抗原キットを用いての検査を行いました。検体採取はPPEを纏った看護師が対応し、検体の受け取り、誘導をもう一人の看護師が対応、医師は結果を確認し電話で患者様に対応しました。令和4年度は前年度に比較し10倍以上の患者が受診しました。

徐々に患者数は減少しましたが、いまだ終息はしておらず令和5年度も引き続き発熱外来を継続致します。

内容	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)
予診のみ	0	0	0	0	0	0	1	1,694	3	5,082	3	5,082
通常接種	234	532,818	204	464,508	150	341,550	654	1,489,158	1,356	3,087,612	808	1,839,816
時間外接種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休日接種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	234	532,818	204	464,508	150	341,550	655	1,490,852	1,359	3,092,694	811	1,844,898

内容	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)	人数	金額(円)
予診のみ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3,388
通常接種	126	286,902	554	1,264,362	692	1,585,848	20	48,444	14	33,330	37	87,153
時間外接種	0	0	0	0	20	61,600	0	0	0	0	0	0
休日接種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	126	286,902	554	1,264,362	712	1,647,448	20	48,444	14	33,330	39	90,541

内容	全体計	
	人数	金額(円)
予診のみ	9	15,246
通常接種	4,849	11,061,501
時間外接種	20	61,600
休日接種	0	0
計	4,878	11,138,347

令和4年度コロナ関連補助金等収入		
番号	名称	金額(円)
1	新型コロナウイルスワクチン個別接種促進交付金 (R4.2-R5.3月分) ※R4.2-3分5,655千円、R4.4-R5.3分9,041千円	14,696,000
	計	14,696,000

## 3. 委員会活動

### 保健福祉センター運営会議

委員長 阿部 俊和

従来、運営会議は診療所、歯科診療所の患者数や収益を職員全員が共有する目的と保健福祉センター事業を職員全体が認識し業務を円滑に運営する目的で行っていましたが、令和3年度よりコロナ禍に対するワクチン事業、発熱外来等の業務により午後にまとまった時間が取れず、令和4年度も昨年度同様月末の朝礼後に20分程度、対象も診療所、歯科診療所、訪問看護ステーションの職員に限定して行いました。

はじめに医療係より診療所、歯科診療所部門の毎月の収支、患者数の報告がありました。診療科においては内科、歯科、更に婦人科、神経内科、眼科、整形外科、循環器内科、そして新設された呼吸器内科の8つの部門に分け、おのおのの詳細な収支、患者数、業績の報告がなされました。更に発熱外来、COVID-19 ワクチンの接種数、その収支の報告もあり、診療所、歯科診療所の幹部職員が毎月の経営状態を確認し共有致しました。月の累積の収支等についても報告があり、目標に対する進捗状況も認識してもらいました。早朝診療、土曜診療の患者数についても報告がありました。

看護科からは訪問診療の件数や看取りの数等の報告がありました。

レントゲン部門によるレントゲン検査の推移（CT、骨密度測定、透視、単純写真数など）、臨床検査科における検査数（一般検体検査数、心エコー、脈波検査など）、内視鏡検査数の報告もなされ、検査数の推移や多寡について検討致しました。

訪問看護ステーションからは利用状況、訪問回数、看取りの数や収支が報告されました。

従来行っていた各種委員会報告は時間の関係で割愛となりました。

この会議の本来の目的は診療部門、役場保健センターの事務部門が一堂に会して会議を行い、情報を共有する事により連携を深める事でありましたので、コロナ禍が落ち着きましたら以前の形態に戻したいと考えております。

構成員：金ヶ崎保健福祉センター幹部職員

# 管理委員会

委員長 阿部 俊和

管理委員会は保健福祉センターの幹部により構成されており、令和4年度は昨年度と同様にワクチン接種の関係で毎週金曜日の朝礼後に10分程度行いました。

委員会では医師3名、歯科医師1名の2週間の出張、訪問等のスケジュール、事務長の週間予定に加え、看護科、訪問看護ステーションの行動予定、薬局・検査・レントゲンの2週間の予定と状況報告、保健福祉センターからは医療係、福祉係、介護保険、元気100歳健康支援係、新型コロナワクチン対策室のメンバーが2週間のイベントや会議等のスケジュール、事業の進捗状況等の説明を行い、その調整も同時に行いました。また、診療所運営上の問題点や課題に関して協議しました。

診療所、保健センターを運営する上において幹部による毎週のスケジュール等のすり合わせは重要であり、今後も継続していきます。

構成委員：阿部 俊和 古田 一裕 加藤 喜信 高橋 通訓 亀井 浩 小野寺 甲仁  
佐藤 茂志 佐々木 清光 小野寺 利佳 高橋 須磨 千田 瑞穂 佐藤 康博  
高橋 真一郎 佐藤 美幸 高橋 光緒 栗津 文恵

# 広 報 委 員 会

医療係長 佐藤 美幸

広報委員会の活動は主として、保健福祉センターだよりの記事案を検討する会で、今年度は、たより発行日の前月に計6回開催しました。

保健福祉センターだよりは、広く町民に診療所、訪問看護ステーション及び保健福祉センターの業務お知らせするために発行しているものです。

町民が知りたい最新情報を確実にお伝えすることができるよう、今後とも広報委員会の活動を続けてまいります。

## 1. 委員会構成

委員長	診療放射線技師	佐藤 茂志			
委員	所 長	阿部 俊和	歯 科 長	高橋 通訓	
	事 務 長	佐藤 康博	医 療 係 長	佐藤 美幸	
	看 護 師	高橋 須磨	看 護 師	吉田 聖子	
	看 護 師	木村 優李	主 査	多田 麻衣子	
	主 事	高橋 圭太	主 事 補	岩淵 月	
	保 健 師	佐々木 結衣			

## 2. 広報委員会

開催日とたより発行日

回数	号数	広報委員会	発行日
1	90	令和4年5月11日(水)	令和4年6月16日(木)
2	91	令和4年7月13日(水)	令和4年8月18日(木)
3	92	令和4年9月14日(水)	令和4年10月20日(木)
4	93	令和4年11月9日(水)	令和4年12月15日(木)
5	94	令和5年1月11日(水)	令和5年2月16日(木)
6	95	令和5年3月8日(水)	令和5年4月20日(木)

3. 発行部数 1号あたり 約5,500部

4. 発行先 町内全世帯、近隣医療機関・福祉施設

# 保健福祉センター だより

2022. 4. 21 No.89

発行 金ヶ崎町保健福祉センター

〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根鍬水 98 番地

TEL0197-44-4560 fax0197-44-4337



## 金ヶ崎診療所における新年度の体制について

### ～呼吸器内科開設など～

文責: 金ヶ崎診療所 所長 阿部俊和

金ヶ崎診療所は、「町民が明るく健康でいられるようにお手伝いします。」を理念に活動しております。一般診療に加え訪問診療・訪問歯科診療・訪問看護などの在宅医療、ワクチン接種への積極的な介入、新型コロナウイルス感染症等を対象とした発熱外来、そして出前講座などの予防医学事業も行っており、令和4年度においても継続していく予定です。

常勤医師の体制は昨年度とほぼ同様ですが、新年度から、週1回月曜日午前中のみ診療ではありますが、呼吸器内科が開設されます。呼吸器疾患には気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性・急性気管支炎、肺炎、肺結核、肺がん等種々の病気があります。週1回の診療なので全てを診る事はできませんが、今までより数段、治療や診断能力が向上すると思います。

また、婦人科診療におきましては、現在月2回の診療でありましたが、新年度から変則的ではありますが、月4回の診療となり、こちらも利便性が増すと思います。

各診療予定日については、広報かねがさきや金ヶ崎診療所ホームページ等で診療予定をご確認頂ければと思います。

令和4年度も職員一丸となり住民の健康増進に寄与してまいりますので、よろしくお願ひします。

金ヶ崎診療所・歯科診療所のホームページをリニューアルしましたので、宜しければご活用下さい。

## \*\*\* こんにちは訪問看護です \*\*\*

### 訪問看護ステーションからのお知らせ

金ヶ崎町訪問看護ステーションは、住み慣れたご自宅で安心して療養生活を送って頂けるようにまごころをこめて、適切な看護を提供したいと努めています。

病気の知識が無かったり、初めて病気になった方の介護は誰もが不安に思うことです。訪問看護ではそんな不安をお聞きしながら、日常的な健康管理、必要な医療処置、医師との連絡調整、家族からの相談対応、人生の終末期の在宅看取り支援などを行っています。

主治医の先生が訪問看護を必要と認めた方であれば、どなたでもご利用いただけます。

#### ◆◆◆ ご利用方法 ◆◆◆

当訪問看護ステーション(金ヶ崎診療所内)または、  
かかりつけの医師や担当のケアマネジャーにご相談ください。





# 診療案内



理念：町民が明るく健康でいられるようにお手伝いします。

## 金ヶ崎診療所 ☎44-2121

### 【診療科】

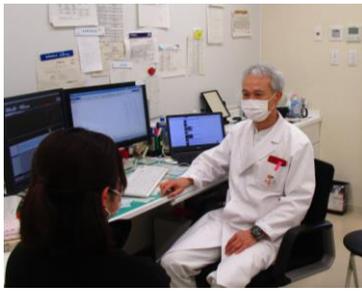
内科、神経内科、循環器内科、泌尿器科、外科、婦人科、肛門外科、眼科、整形外科、呼吸器内科

新型コロナワクチン接種対応のため、  
一般外来の予約は午前中となります。  
ご理解いただきますようお願いいたします。



- ◆ 早朝診療：8時から  
(会社員、学生等対象受付7時30分から)
- ◆ 午前：8時45分から12時30分  
(受付 8時30分から11時30分)
- ◆ 午後：13時45分から17時  
(受付 13時30分から16時30分)

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	第2・第4
午後	○	○	○	○	○	



### 🌸お知らせ🌸

令和4年4月から呼吸器内科を開設しました。

また、整形外科は診療する曜日が変わり、婦人科は診療日が増設となりました。

～\*～\*診療は予約制です。\*～\*～

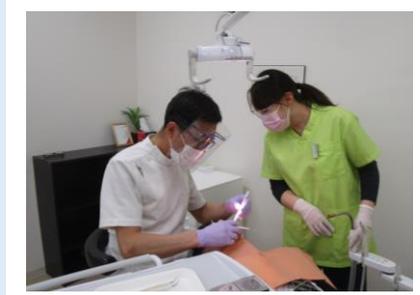
- 新** 呼吸器内科 毎週 月曜日 午前
- 👁️ 眼科 毎週 月曜日 午後
- 🧠 神経内科 毎週 火曜日 午後
- 👩 婦人科 月2回木曜日 午前  
**新**：月2回金曜日 午後
- 🫀 循環器内科 毎週 木曜日 午前
- 👨 整形外科 毎週 木曜日 午後

## 金ヶ崎歯科診療所 ☎44-2842

【診療科】 歯科、小児歯科

- ◆ 午前：8時45分から12時30分  
(受付 8時30分から11時30分)
- ◆ 午後：13時45分から17時  
(受付 13時30分から16時30分)

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	
午後	○	○	○	○	○	



医師とお話してみませんか。♪

### 出前講座のお知らせ

ぜひご利用ください。

出前講座では種々の病気の解説や予防医学など幅広くテーマを用意して、希望する会場へ出向いてお話をさせていただいております。メニューに無く、住民の皆様が希望するようなテーマがありましたら、なるべくご要望にお応えするように対応いたします。

☎ 保健福祉センター医療係 ☎44-4560

★2か月前の予約をお願いします。

# 保健福祉センターだより

2022. 6. 16 No.90



## 金ヶ崎歯科診療所から

### ～ 歯と口の健康週間によせて ～

文責: 金ヶ崎歯科診療所 歯科長 高橋 通訓

6月4日は虫歯の日、それから10日までが歯と口の健康週間（歯の衛生週間から平成25年に改称）でした。口の中の健康と言われて、日常行うことで一番大切なことは毎日の歯磨きです。

さて、次にあげる中で自分に当てはまる項目はあるでしょうか？

- ① 歯ブラシは食べカスをとるためにやっている。
- ② かたい歯ブラシでゴシゴシ磨くときもちいい。
- ③ 冷たいものがしみて痛い。
- ④ 歯磨きは朝だけ磨く。
- ⑤ 歯ブラシは数か月に1回くらいは交換している。
- ⑥ 自分の歯も、入れ歯も同じ歯ブラシで磨く。
- ⑦ 歯磨きは時々、あるいはほとんどしない。



ひとつでも当てはまる項目があった方は、痛くなくても一度歯科を受診して、正しい歯磨きの方法を教えてもらうことをお勧めします。

①一番の目的は、口の中の細菌のかたまり歯垢（デンタルプラーク）を除去することです。②この磨き方では、歯や歯肉を痛めるだけで肝心の歯垢はとれません。③②の磨き方が原因であることが多く、改めなければひどくなる一方です。④一番大切なのは夜の歯磨きですが、刻々増えていく歯垢を減らすためには毎食後行いましょう。⑤一か月ほどで歯ブラシの毛の弾力は無くなります。交換目安は一か月。⑥歯ブラシがあっという間にだめになってしまいます。入れ歯専用のブラシを用意しましょう。⑦の方、すぐ考えを改めてください。

国民皆歯科検診の話題も出ていますが、

\*\*\* 歯と口の健康週間を機会に、正しい歯磨き習慣を身につけましょう \*\*\*

## ～新型コロナウイルスワクチン3回目接種状況について～

令和4年6月3日現在、金ヶ崎町の接種率は85.3%と、全国・岩手県を大きく上回る接種状況となっておりますが、引き続き感染症のまん延を予防するため、接種を希望される方は、早期接種にご協力をお願いいたします。

年代	接種率	接種者数（対象者数）
65歳以上	95.4%	4,372人(4,582人)
50～64歳	93.0%	2,518人(2,707人)
35～49歳	85.6%	2,286人(2,672人)
18～34歳	70.2%	1,534人(2,185人)
12～17歳	37.3%	270人(723人)
合計	85.3%	10,980人(12,869)

（参考）6月2日時点政府公表3回目接種率

【全国】 59.0%

【岩手県】 65.3%

## 金ヶ崎診療所・金ヶ崎歯科診療所から ～受診までの流れ～

### 【初診の場合】

電話等でご予約ください。

※ご予約がない場合、訪問診療等対応のため医師不在で診療できない場合があります。

※診療所は、午後に新型コロナウイルスワクチン接種対応のため、一般外来の予約は午前中となります。

### 【再診の場合（予約のある方）】

ご予約の時間までに診療所又は歯科診療所の窓口にお越しください。

### 【診療曜日・診療時間】※歯科診療所は土曜日休診です。

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	第2・第4
午後	○	○	○	○	○	

◆午前：8時45分から12時30分  
(受付 7時30分から11時30分)

◆午後：13時45分から17時  
(受付 13時30分から16時30分)

### ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 金ヶ崎歯科診療所 (Tel44-2842) ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

#### 【診療科】 歯科、小児歯科

※土曜日は休診となっておりますので、ご注意願います。

### ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 金ヶ崎診療所 (Tel44-2121) ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

#### 【診療科】 内科、神経内科、循環器内科、泌尿器科、外科、婦人科、肛門外科、眼科、整形外科、呼吸器内科

※内科・外科では会社員、学生等を対象に早朝診療を行っています。

⇒ 午前8時から診療 (受付 午前7時30分から)

次の診療科の診療日は以下のとおりです。電話等でご予約のうえお越しください。

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| 呼吸器内科 毎週 月曜日 午前 | 眼科 毎週 月曜日 午後            |
| 神経内科 毎週 火曜日 午後  | 循環器内科 毎週 木曜日 午前         |
| 整形外科 毎週 木曜日 午後  | 婦人科 月2回木曜日 午前/月2回金曜日 午後 |

### ～「奥州金ヶ崎地域権利擁護あんしんセンター」が開所しました～

令和4年4月1日、町成年後見制度利用促進基本計画に基づく中核機関「奥州金ヶ崎地域権利擁護あんしんセンター」を奥州市と金ヶ崎町で共同設置しました。

- ◆目的：全国どの地域に住んでいても成年後見制度の利用が必要な人が制度を利用できることを目的に保健・医療・福祉の関係者に加え、司法の関係者も含めた新たな「地域連携ネットワーク」を構築し、住民の権利や財産を守るため、関係機関と連携しながら支援を行います。
- ◆運営：奥州市社会福祉協議会に委託
- ◆場所：奥州市水沢南町5番12号 奥州金ヶ崎地域権利擁護あんしんセンター（奥州市総合福祉センター内）
- ◆問合せ：TEL：0197-25-7171 FAX：0197-25-6712

発行 金ヶ崎町保健福祉センター

〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根樋水 98 番地

TEL0197-44-4560 fax0197-44-4337

# 保健福祉センターだより

2022. 8. 18 No.91



金ヶ崎診療所から

～ 新型コロナウイルス第7波拡大と熱中症 ～

文責: 金ヶ崎診療所副所長 古田 一裕

現在新型コロナウイルス感染症第7波、感染拡大の真っ最中です。

第6波で流行したオミクロン株 (ba1→ba2) とは異なる変異を持ったオミクロン株 (ba5→ba2.75) が主体です。コロナ流行のたびにウイルスの感染力は強くなっていますが、ワクチン接種の広まりも相まって重症化率・死亡者数は下がってきています。

重症化率、死亡率は低下していても感染するとかなり強い症状の出る方も多く後遺症の可能性もあるため感染しないことが最善です。感染力が強くなっているとはいえ予防するためにはマスクの着用、換気の徹底、手洗いの励行、アルコールによる消毒が大切です。

ところで、今年の夏も大変暑い夏になると予想されています。ここで心配されるのが熱中症です。「2m以内での会話」「人混みの中」「大勢の人が集まった室内」「食事時の会話の際」にはマスクの使用が推奨されていますが「屋外でのスポーツ」「農作業」そして「歩行中など」のマスク着用は推奨されていません。

運動時のマスクの着用は熱中症発症の危険性を高めます。新型コロナウイルス感染症の症状と熱中症の症状とは似たところが多くウイルスの検査以外で正確に診断をつけることは不可能です。

新型コロナウイルス感染症に罹らないこと、熱中症にならないよう注意することが大切です。

## ～新型コロナウイルスワクチン3回目接種状況について～

令和4年8月5日現在、金ヶ崎町の接種率は88.4%と、全国・岩手県を大きく上回る接種状況となっております。しかし、全国的に感染拡大が続いていますので、重症化を予防するため、接種を希望される方は、早期接種にご協力お願いいたします。

年代	接種率	接種者数 (対象者数)
65歳以上	95.9%	4,396人 (4,582人)
50～64歳	94.4%	2,556人 (2,707人)
35～49歳	87.6%	2,342人 (2,675人)
18～34歳	73.6%	1,614人 (2,194人)
12～17歳	66.3%	483人 (728人)
合計	88.4%	11,391人 (12,886人)

(参考) 8月4日時点政府公表3回目接種率

【全国】 63.2%

【岩手県】 70.9%

## 「令和4年度の健幸ポイント事業がスタートしました」

### 元気100歳健康支援係

昨年度からタニタヘルスリンク(株)のシステムを導入し、大幅に拡充した健幸ポイント事業が、令和4年度も新たに400名以上の参加者をお迎えし、本格的にスタートしました。

この事業は、専用の活動量計もしくはアプリにより日々の歩数を計測し、タニタヘルスリンク(株)のクラウド上でデータ管理を行い、取り組みによる体の変化を可視化しながら健康管理ができるもので、獲得したポイントに応じて最大6,000円の商品券が交付される事業です。

令和4年度の新規募集定員は500名ですが、まだ若干の余裕がありますので、今からでも始めたいという方は、お気軽に保健福祉センター元気100歳健康支援係(TEL44-4560)にお問い合わせください。

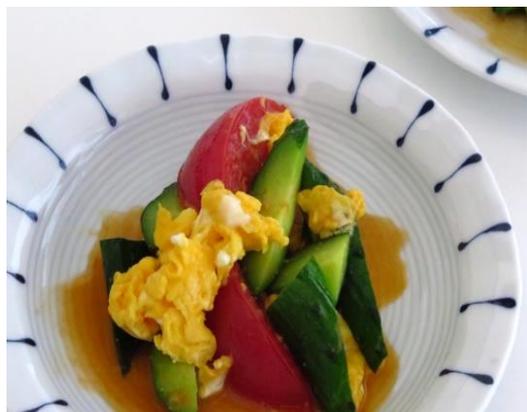


令和4年度事業説明会ではタニタヘルスリンク(株)のスタッフに直接アドバイスをいただきました。

参加者に配付される専用の活動量計



## ～ きゅうりとトマトのさっぱり卵炒め ～



### ポイント

暑い季節にぴったりの時短レシピ  
きゅうりの歯ごたえが残るようサッと炒めましょう！

### 材料(2人分)

・きゅうり	50g(1/2本)	A	・しょうゆ	小さじ1
・トマト	75g(中玉1/2個)		・みりん	小さじ1
・卵	1個		・酢	大さじ1
・ごま油	大さじ1		・鶏がらスープの素	小さじ1/4

- ① 下準備 きゅうりは小さめの乱切り、トマトは3cm幅のくし型に切る。
- ② 炒める 熱したフライパンにごま油大さじ1/2と溶き卵を入れ、大きい半熟状の炒り卵を作り一旦取り出す。同じフライパンにごま油大さじ1/2を足し、①を強火で炒める。
- ③ 仕上げ 混ぜ合わせておいたAを加えてひと混ぜし、火を止め炒り卵を合わせる。

## 「血圧の高い人」に特におススメ！！

※1人分の栄養価 エネルギー100kcal 食塩相当量0.7g カリウム190mg

発行 金ヶ崎町保健福祉センター

〒029-4503 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根鍬水 98 番地

TEL0197-44-4560 fax0197-44-4337

# 保健福祉センターだより

2022. 10. 20 No.92



金ヶ崎診療所から

～ がん検診への新型コロナの影響 ～

文責：金ヶ崎診療所内科長 加藤 喜信

2019年に新型コロナウイルスが発生・流行してから、それ以前と比べ生活に色々な変化が起こりました。人の混雑（密）の回避などはその最たる例とされますが、その影響によるものががん検診の受診者が減少したそうです。公益財団法人日本対がん協会の調査によると、2020年に実施した5つのがん検診（胃、肺、大腸、乳、子宮頸）の受診者はのべ394万1491人で、2019年の567万796人から172万9305人減少し、対前年比30.5%の大幅減となっていました。しかし、コロナ流行下でもがんは変わらず発生していると考えられます。

それでは2020年における実際のがんの診断件数はどうだったのでしょうか。癌関連3学会（日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会）の105施設において、2020年のがん診断件数は8万660件で、2019年の8万8,814件より8,154件(9.2%)少なく、治療数（外科的・鏡視下的）も減ったことがわかりました。おおむね早期が減る一方、進行がんは両年で差が少ない傾向だったそうです。早期がんは自覚症状がないため、検診などのきっかけがないと見つからない事が発見の減少した原因と考えられます。

がんは早期に発見すれば完治できますが、進行すれば治療も困難となり、患者の負担も大きくなります。現状では多くのがんの一番の特効薬は早期発見・早期治療です。

**みなさんも早期がんを見逃さないようがん検診を受けることをおすすめします**



## 金ヶ崎診療所の診療体制について

午後の一般外来の診療は当面の間、新型コロナウイルスワクチン接種対応のため、予約の方のみとしております。ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、金ヶ崎歯科診療所については、従来どおり予約制となっております。

ご不明な点は次の問合せ先にご確認願います。

☎ 金ヶ崎診療所 ☎ 44-2121  
☎ 歯科診療所 ☎ 44-2842

## ～ 発熱外来について～

発熱や風邪症状のある方は午後の診療となっております。予約制のため、受診日の午前中までに電話連絡をお願いします。

☎ 金ヶ崎診療所 ☎ 44-2121



## 「2022-2023 年シーズンのインフルエンザ対策」について

インフルエンザについては、国内で「新型コロナウイルス感染症」の流行が始まった 2020 年 2 月以降、患者報告数は急速に減少し、現在までインフルエンザウイルス検出の報告はほとんど見られておりません。しかしながら、多くの国では、2021 年後半から 2022 年前半にかけ、小ないし中規模の流行がみられています。

今後は、海外からの入国が緩和され人的交流が増加することで、国内へウイルスが持ち込まれると考えられること、過去 2 年間国内での流行がなかったために、社会全体のインフルエンザに対する集団免疫が低下していることが考えられます。そのため、一旦感染がおこると、特に小児を中心に社会全体として大きな流行となるおそれがあると「一般社団法人日本感染症学会」では注意喚起をしています。

インフルエンザに対しては、他の感染症と同様に手洗い、マスク着用、咳エチケットなど一般的な感染予防を実践するとともに、重症化リスクの高い方は予防接種を検討しましょう。

なお、町では予防接種費用の一部助成を実施しています。対象者には既に通知しておりますので、希望する方は期間内に接種を受けてください。

予防接種の種類	助成対象者	実施期間
高齢者インフルエンザ	満 65 歳以上の人	令和 5 年 1 月 31 日まで
小児インフルエンザ	生後 6 か月～中学 3 年生の人	令和 4 年 12 月 28 日まで

野菜料理をプラス1皿！  
電子レンジで簡単

### 里芋のナムル

#### 材料（2人分）

- ・里芋 120g
- ・ねぎ（みじん切り）少々
- ・おろしにんにく 少々
- ・小ねぎ（みじん切り）少々

- A
- ごま油 小さじ2
  - 酢 小さじ1
  - 塩 小さじ 1/6

#### 作り方

- 1 里芋は皮をむいて 5 mm厚さに切り、水にさらした後、耐熱皿に入れてラップをし、600Wの電子レンジで2分30秒～3分加熱する。
- 2 ボウルにねぎ、おろしにんにく、Aを入れて混ぜ合わせ、①を和える。器に盛り、小ねぎを散らす。



他の芋類と比較すると、低カロリーでカリウムの含有量が一番多い里芋。  
食物繊維も豊富なので血糖値の抑制や高血圧の予防に有効です。

発行 金ヶ崎町保健福祉センター

# 保健福祉センターだより

2022. 12. 15 No.93



金ヶ崎診療所から

～ 冬と頻尿 ～

文責：金ヶ崎診療所 所長 阿部 俊 和

いよいよ今年もあと数日となりました。12月に入り大分寒さが増してきましたが、町民の皆様には如何お過ごしでしょうか。暖房設備の点検やタイヤ交換など、冬支度もすでに済ませている人が多いと思います。

さて、寒くなりますとおしこの回数が増える（頻尿）方も多くなりますが、なぜ頻尿となるのでしょうか。これにはいくつかの理由があります。

まずは一日の尿の量です。気温の高い夏の日などでは汗や口から蒸発する水分（不感蒸泄）が増え、自然に1日の尿量が減少し、その結果排尿の回数が減少します。マラソンなどで5時間走っても尿意がわからないのはその極端な例です。逆に冬の寒い日などは汗もかかず、その分尿量が増え、回数も増えます。

次に自律神経の問題です。尿をためたり排出する機能は交感神経や副交感神経の自律神経がつかさどっています。寒冷刺激でこのバランスがくずれると頻尿となります。冷え性の方には頻尿が多いと言われていますが、冷え性の方では足の体温が低く、足を温める事で頻尿が改善する場合があります。冬期間の頻尿で悩んでいる方は、まずは水分摂取量を減らし、体を内外から温めたり、スクワットなどの運動で末梢循環を改善させることから始めましょう。頻尿の原因には、男性であれば前立腺肥大症や前立腺がん、女性では過活動膀胱などの病気が潜んでいる事もあります。



水分制限や体を温めても頻尿が改善しない場合には泌尿器科を受診しましょう。

☆☆☆ 金ヶ崎診療所・歯科診療所からのお知らせ ☆☆☆

◎マイナ保険証の利用について

令和4年12月1日から、マイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになりました。

◎年末年始の休診について

令和4年12月29日（木）から令和5年1月3日（火）まで休診となります。ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

# ～ 誤嚥（ごえん）を予防 自宅でできる「パタカラ体操」 ～

金ヶ崎町訪問看護ステーション

加齢とともに「むせることが多くなった」「食が細くなった」「呑み込みが負担だ」と感じている方はいませんか。また、食事時の親の様子が以前と違うと心配するご家族もいらっしゃるのでは？

私達訪問看護師が日頃行っている、ご自宅でできる嚥下訓練をご紹介します。  
食べ物が飲みにくくなるのは次のような原因が考えられます。

- ・唾液量が減り飲みにくくなる
- ・歯の状態が不安定で呑み込みに影響する
- ・飲み込む筋力の低下があり、のどの途中で食べた物が詰まりうまく流れなくなる

大きな声を出すと、食べ物を誤嚥しそうになった時に外に出す力が鍛えられます。発声トレーニングとして、「パタカラ体操」をご紹介します。



「パ、パ、パ、パ、タ、タ、タ、タ、カ、カ、カ、カ、ラ、ラ、ラ、ラ」を5回繰り返します。  
次に「パタカラ、パタカラ、パタカラ」と5回繰り返しましょう。

パタカラ体操を行うと、「食べこぼしが減る」「食べ物をつぶしたり丸めたりしやすくなる」「食べ物が気管に入るのを防ぐ」といった効果が期待できます。

これを毎日3回、食べる前に行うと食べるための良い準備になります。

野菜料理をプラス1皿！  
お酢を使った減塩レシピ

## たこのマリネ

### 材料（2人分）

たまねぎ	40g	A	オリーブ油	大さじ 1/2
パプリカ	15g		酢	大さじ 1
きゅうり	15g		砂糖	小さじ 1
茹でたこ	30g		塩	小さじ 1/8
パセリ	少々		こしょう	少々

### 作り方

- 1 たまねぎは縦半分に切った後、横に薄切りにし、耐熱皿に入れてラップをかけ電子レンジで加熱する。（600Wで45秒程度）
- 2 パプリカは5mmの角切り、きゅうりはせん切り、茹でたこはそぎ切りにする。
- 3 1と2をAであえ、冷蔵庫に入れて味をなじませる。器に盛り刻みパセリをふる。



エネルギー85kcal 食塩相当量0.5g

たこの代わりに、サーモンやかに風味かまぼこでも。おせちの一品としておすすめです。

発行 金ヶ崎町保健福祉センター

# 保健福祉センターだより

2023. 2. 16 No.94

## 新年のごあいさつ



保健福祉センター  
所長  
兼  
金ケ崎診療所  
所長  
あべ としかず  
阿部 俊和

新年が明け既に1か月が経過致しました。寒さの中町民の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。この春より新型コロナウイルス感染症は、感染症法上2類からインフルエンザ相当の5類に引き下げになりそうですが、まだまだ感染収束は見込めません。同時にインフルエンザも流行しており、今まで通り基本的な感染予防を励行しましょう。

さて、金ケ崎診療所・歯科診療所においては、本年も各医療機関との連携による安定した医療の提供に努めるとともに、訪問診療・訪問歯科診療・訪問看護などの在宅医療も継続してまいります。

町民の皆様が健康で暮らすことができるよう保健・福祉・介護部門を含め保健福祉センター全体で、サポートを続けてまいりますので今年もよろしく願いいたします。



金ケ崎歯科診療所  
歯科長  
たかはし みちのり  
高橋 通訓

新年を迎え、コロナの終息と町民みなさまのさらなる健康と幸せを願い、少しでも手助けができればと思っております。

気になることがあれば、まずは早めに電話で予約していただければ幸いです。

本年もよろしく願いいたします。

## 訪問看護ステーション



コロナ禍ではありますが、これからも地域の皆様とより密な連携を取りながら、ご自宅で療養している利用者様、ご家族様に心のこもった看護を提供できるよう努めてまいります。

## ～ 門松のご提供ありがとうございました ～



六原金森の高橋 均様から毎年保健福祉センターに門松の提供をいただいております。今年も1月10日までご提供いただき金ケ崎診療所玄関ホールに設置し、新年を迎えることができました。

職員一同、厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

# 金ヶ崎診療所・歯科診療所からのお知らせ

## 1. 金ヶ崎診療所「午後の診療」について

当面の間、「発熱外来」「新型コロナウイルスワクチン接種」対応のため、金ヶ崎診療所の午後の診療は「眼科」「神経内科」「整形外科」「婦人科」の予約がある方としています。

なお、歯科診療所については、「午前」「午後」ともに通常の診療となっております。

ご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前	通常診療 ◎内科 ◎泌尿器科 ◎外科 ◎肛門外科					◎○内科 (毎月第2・4)
	○呼吸器内科			○循環器内科 ○婦人科 (月2回)		
午後	発熱外来、新型コロナウイルスワクチン接種 ⇒ 事前予約が必要です。					
	○眼科	○神経内科		○整形外科	○婦人科 (月2回)	

【初診の場合】・・・・・・・・電話等でご予約ください。

電話 診療所：44-2121 歯科診療所：44-2842

【再診の場合（予約のある方）】・・・ご予約の時間までに診療所の窓口にお越しください。

## 2. マイナンバーカードの保険証利用（オンライン資格確認）について

令和4年12月1日から、マイナンバーカードが健康保険証として利用できるようになっています。

### 【利用方法】

- 1 顔認証付カードリーダーにマイナンバーカードを置く
- 2 本人確認方法（顔認証、または暗証番号）を選択する
- 3 顔の撮影、または暗証番号を入力する
- 4 薬剤情報・特定健診情報等の閲覧について選択する
- 5 受付完了



備え付けのカードリーダーにマイナンバーカードを入れると画面に操作指示が出ます。

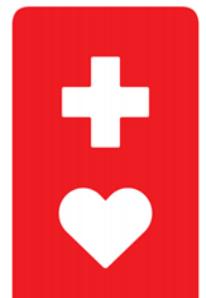
※初回のみマイナンバーカードの健康保険証利用の申し込みが必要です。

申し込みは顔認証付カードリーダーからも行うことができます。

## ヘルプマークを知っていますか？

ヘルプマークは、義足や人工関節、知的障がい、内部障がい、発達障がい、精神障がい、妊娠初期、難病、認知症、目や耳・言語の障がいなど見た目ではわからない障がいを持った人たちが周囲に配慮を必要としていることを知らせるマークです。

- 電車・バスの中で、席をお譲りください
- 駅や商業施設等で、声をかける等の配慮をお願いします
- 災害時は、安全に避難するための支援をお願いします



発行 金ヶ崎町保健福祉センター

# 環境づくり委員会

委員長 高橋 通訓

令和4年度の作品展示は、下記の日程で行いました。

月	学校名	月	学校名
8月	金ヶ崎小学校	11月	三ヶ尻小学校
9月	第一小学校	12月	西小学校
10月	永岡幼小学校	2月	金ヶ崎小学校

毎年恒例の正月、七夕、ハロウィーンなどの飾りつけを行いました。クリスマスツリーはワクチン接種のため、飾る適切な場所が見つからず行いませんでした。また草取りなどの毎年行っていた屋外の整備も行いませんでした。

雪は比較的少なかったとはいえ、早朝の職員全員で除雪作業を随時行いました。

次年度も所内でのワクチン接種は続きますが、作品展示はじめ、恒例行事の飾りつけ、できれば屋外の整備も行いたいと考えています。

構成委員：阿部 俊和 亀井 浩 石母田 陽子 新岡 蘭 鈴木 麻代子 栗津 文恵  
四日市 春美 佐々木 美由紀 小原 茉奈 植田 里美 佐藤 大樹 千葉 聖也  
菊池 望花

# 経営改善委員会

委員長 古田 一裕

経営改善委員会は顧客、財務、業務の質、業務効率、学習と成長の視点からそれぞれに評価指標、目標値、実行計画をたてそれを年度末に評価するBSCによる検討を行っています。

平成29年度に電子カルテの導入、医事システムの変更。平成30年度は新診療所での業務となりました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため通常診療に大きな支障を生じました。令和4年度も前年度同様コロナ感染症対策、コロナワクチンの住民接種の対応のため診療所の診療体制の大幅な変更を継続しました。学会、研修は年末まではリモートの参加でしたが年明け後は現地参加が可能となりました。コロナ感染症の存在を前提に、経営改善の努力をしていく必要があると思われま

構成委員：阿部 俊和 高橋 道訓 亀井 浩 小野寺 甲仁 佐々木 清光 小野寺 利佳  
高橋 須磨 千田 瑞穂 佐藤 康博 佐藤 美幸 佐藤 大樹

## 令和4年度 金ヶ崎診療所バランススコアカード【診療部門】

視点	戦略課題（目標）	部門課題（目標）	評価指標・目標値		アクションプラン	実測値	達成率
			評価指標	本年度目標値			
顧客の視点	専門医療の充実	消化器内科、外科、腎臓内科、泌尿器科、神経内科における専門性の高い医療の提供	上部消化管内視鏡検査数	420件	広報活動の充実、既往患者のf/u	426	101.4%
			下部消化管内視鏡検査数	100件	広報活動の充実、既往患者のf/u	128	128.0%
			膀胱鏡検査数	15件	血尿患者への積極的アプローチ	11	73.3%
			前立腺生検	3件	前立腺検診、広報	1	33.3%
			腹部超音波検査件数	70件	スクリーニングとしての定期検査	89	127.1%
	医療、保健、福祉が一体となった地域活動の展開	出前講座 糖尿病教室冊子配布 広報紙による疾病啓発	出前の件数	2件	広報活動の充実、既往患者のf/u	3	150.0%
			開催回数	6回	通院患者および広報紙での周知	6	100%
			広報紙の定期発行	5回	広報委員会の定期開催	6	120%
	患者満足度の向上	早朝診療の継続 禁煙外来の継続 訪問診療の拡充	早朝診療患者数	200名	広報紙の活用、出前での宣伝	230	115.0%
			禁煙外来患者数	5件	広報紙の活用、出前での宣伝	2	40%
			訪問患者数	65例	通院不能患者への働きかけ	63	96.9%
	地域医療機関との連携強化	診療応援 通院の利便による逆紹介	診療応援回数	週3.5件	手術応援、検査応援、当直の応援	3.5	100.0%
			逆紹介回数	150件	病診連携強化	123	82.00%
財務の視点	患者数の増加 単価アップ	外来患者数の増加	内科外来患者延数	20,000人/年	広報活動および医院、施設との連携	19,838	99.2%
		内科単価アップ	外来単価	7,500	必要な定期検査の実施	8,630	115.1%
	検査機器の活用	ABIの活用	検査件数	20件	運営会議での検査件数報告	35	175.0%
		DEXAの活用	検査件数	1,000件	運営会議での検査件数報告	1,002	100.2%
		UCGの活用	検査件数	40件	運営会議での検査件数報告	58	145.0%
薬品、資材の差益	差益巾の大きい薬剤使用	使用品目	5件	薬事委員会での検討	7	140.0%	
業務の質の視点	インフォームドコンセントの推進	検査、手術同意書100%	検査、手術同意書 実施率	100%	説明内容書類等の充実	100%	100%
	医療安全対策	侵襲的検査時の薬剤確認	検査中、検査後の出血	0件	問診、薬剤の確認	0	100%
	感染防止対策の促進	感染防止研修会	研修会開催数	1回	院内勉強会での実施	0	0%
率効業務	圏域内病診連携	診療応援など	紹介患者件数	250件	紹介先への診療応援、研修会出席	244	97.6%
学習と成長の視点	職員の能力向上	各種学会への参加、発表 論文作成	学会発表数	1回	学会発表のための取組み強化	0	0%
			参加数	6回	自己研鑽の奨励	9	150%
			論文数	1編	論文作成のための取組み強化	0	0%

令和4年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【外科部門】

視点	戦略課題（目標）	評価指標・目標値		本年度実施計画	実施結果（実施値）
		評価指標・目標値	本年度目標値		
顧客の視点	外科外来開始の周知	他院よりの紹介		実数の把握	
	広報紙への投稿	投稿回数	2		2
財務の視点	新しい処置の導入	コレクティオ	2		0
	診療報酬点数の確認				
	医療材料の見直し				
業務の質の視点	外傷処置の見直し	湿潤療法の施行数		可能な症例は全例	
	癌化学療法中患者の診療・管理	外来化学療法			
業務効率の視点	外来診療の効率化			他科との連携	
学習と成長の視点	新しい知見を学習	地域の研究会への出席	できるだけ頻回		
		学会へ出席	4回		5回
	新しい技術の習得				
	肛門科	肛門疾患診察実績（実人数）	135名		138名
		肛門鏡検査	29名		14名

令和4年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【歯科部門】

視点	戦略課題（目標）	評価指標・目標値		本年度実施計画		実行結果（%）
		評価指標・目標値	本年度目標値			
		①医療講演の実施	年1回	住民対象の医療講演, 実施	6/23かみしも	100%
		②訪問診療の充実	延べ年50人以上	訪問看護ステーションとの連携、広報の活用	116人	232%
		③乳幼児健診人数	年 300人	2歳半健診のフッ素塗布を行う	420人	140%
		④成人歯科検診75歳検診, 妊婦、ドッグ	年 50人以上	成人歯科検診受診者を前年を上回ることを目指す	50人	100%
		⑤研修会等への参加	年間回1以上	国保集会、研究会、勉強会等への出席	5回	500%
		⑥歯科学会への出席	年間1回以上	歯周病学会等、専門学会への出席	0回	0%
業務の質の視点	安全・安心な診療の提供	① ヒヤリハット報告件数	3件	医療事故マニュアルチェックの実施	3件	100%
		②機械室の定期点検実施率	年2回	医療機器の点検およびフィルター等の交換	2回	100%
		③患者ごとのインスツルメント滅菌*	各患者ごと	タービン、エンジン周辺器具の治療前後の消毒等	全て行っている	100%
		④待合室の椅子、ドアノブ等の清掃	毎日適宜	アルコール噴霧、拭き取り	全患者で行っている	100%
		⑤感染対策講習会の開催*	年1回	感染対策関係の講習会出席もしくは独自開催	0回	0%
	効率的業務の推進	①事前連絡のない患者を減らす	一日一人	その都度予約制について理解してもらう	増加傾向にあり	3人/日
		②材料等の簡素化	年3回以上	停滞リストのチェック	3回以上行っている	100%
財務の視点	収入の確保	①診療報酬改定に関する講習会	年1回以上	国保連講習会等への事務部門参加	0回	0%
	材料費の抑制	②材料リストの見直し	適宜実施	発注時同等製品との価格比較	適時行っている	100%

令和4年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【看護部門】

戦略課題(目標)	部門課題(目標)	評価指標・目標値		本年度実施計画	実測値	達成率
		評価指標	本年度目標値			
地域啓蒙活動の推進	・医療関連のイベント開催	開催回数	3回	「看護の日」「救急の日」「世界糖尿病デー」他イベント	2回	66%
	・医療講演の実施	開催回数	1回	・出前講座(金中ワークショップ含)	0回	0%
患者満足度の向上	・糖尿病教室	発行回数	6回	・糖尿病教室の実施または通信の発行(各部署)	6回	100%
	・禁煙外来	卒煙者率	成功率50%以上	・禁煙成功のための積極的アプローチ	0	0%
収入の確保	・医事課との勉強会	開催回数	3回	・請求漏れ防止のため診療報酬についての勉強会実施	実施	100%
材料費の抑制		定数確認	適宜	・定数化の実施により在庫抑制・確認(外来全般)	実施	実施
安全・安心な看護の提供	・ヒヤリ・ハット提出件数	件数	5件/1人/年	・毎月医療事故マニュアルチェックの実施 ・事例原因、対策の分析、フィードバックの徹底	4.4件	88%
	・医療機器の定期点検実施率	実施率	100%	・医療機器毎に点検日を決め実施	実施	100%
専門性の高い看護の提供	・看護手順・基準の見直し実施	実施部門数	適宣	・随時既存の手順・基準の見直し (呼吸器科新設や医師変更による科の見直し)	実施	100%
効率的業務の推進	・他部門との情報交換	開催回数	適宜	・連携をスムーズに行うための話し合い実施	実施	100%
	・年次休暇の消化	消化日数	14日	・職員のリフレッシュ効果による業務の向上	13.6日	97%
職員の能力向上	・所内勉強会参加	開催月	開催月	・開催月に参加	3回	実施
	・研修会等への自主参加	開催月	1人1回以上	・看護関連	0回	0%

令和4年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【訪問看護ステーション】

視点	戦略課題(目標)	部門課題(目標)	評価指標・目標値		アクションプラン	実施値	達成率
			評価指標	本年度目標値			
顧客の視点	サービス(ケア)の標準化	職員への周知		3回	事業所独自のマニュアル等での周知	3回	100%
	関係機関との連携強化	新規利用者の拡大	新規利用者数	30人	月2人以上の新規利用者の契約	29人	96%
財務の視点	歳入の安定化	利用者の拡大	利用者延数	2,100人	居宅介護支援事業所、病院や診療所医師との連携	1,919人	91%
		医療介護報酬の確認		12回	レセプトダブルチェック(介護報酬医療報酬勉強会)	12回	100%
		訪問看護のアピール	広報紙掲載	3回	広報紙を活用し宣伝	2回	100%
業務の質の視点	安全・安心な看護の提供	医療安全研修会		1回		0回	0%
	適切な訪問看護の提供	医師との連携		5回	医師、看護師合同ミーティング	3回	60%
		課内事例検討会	開催数	12回	月1回事例検討会開催	6回	50%
業務効率の視点	多職種との協働・連携	居宅介護支援事業所との連携	ケース担当者会議への出席	随時	関係機関との連携を図り、利用者の情報を共有する	10回	
		医療機関との連携	退院時カンファレンスへの出席	随時	入院中の情報を得る	5回	
		近隣訪問看護ステーションとの連携	交流会参加	1回	他訪問看護ステーションの情報を得る	0回	0%
	情報共有による業務効率向上	ICTの活用		随時	タブレットの活用により画像情報の共有	随時	
学習と成長の視点	職員の能力の向上	各種勉強会・研修会への参加	参加数	1人3回以上	個人毎の研修計画の作成	2回	66%
		知識や技術、最新情報の取得		3回以上	研修会参加後の情報伝達会	3回	100%

令和4年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【薬局部門】

視点	戦略課題(目標)	評価指標・目標値		本年度実施計画	実施値	達成率
		評価指標・目標値	本年度目標値			
顧客の視点	医療講演の実施	医療講演実施件数	2回以上	出前講座、糖尿病教室、薬物乱用防止教室等を実施する	3回	100%
	個別ケア会議出席	参加し、薬情を業務に役立ててもらう	6回	事業者に対する患者ごとの医薬品情報の提供及び指導を行う	6回	100%
	丁寧な薬品情報提供	満足度80%以上	5件以上	養護教諭・内外医療スタッフからの質問に迅速かつ丁寧に対応する	5件以上	100%
財務の視点	後発医薬品の使用促進	後発医薬品の使用促進	15種以上	見積にGEを加え、GE使用を推進する	19品目	100%
	薬品の適正管理	月末の実在庫と理論在庫の検証	毎月実施	月末在庫調査での実在庫と薬剤在庫管理ソフト上の理論在庫(レセコン連動)を検証し、在庫管理を適正に行う	毎月実施	100%
		廃棄薬品の減少	5万円/年以下	使用期限一覧表を提供する。また、薬品購入時には使用期限に注意し、随時期限切迫品の使用をIP・紙等で喚起する	97,484円(税抜)	0%
業務の質の視点	医療安全対策の推進	重大な副作用の情報提供	DSU・・・毎月 その他・・・随時	情報入手に努め、対象部門に回覧する	実施	100%
	ワクチン接種の効率化	接種予定表による管理	15人分	個々の接種予定表を作成し、安全・効率的な接種を推進する	15人以上	100%
業務効率の視点	効率的業務の推進	他部門との情報交換	3回以上	連携がスムーズに行えるように話し合う	3回以上	100%
学習と成長の視点	幅広い知識の習得	研修会への参加	2回以上	町・薬剤師会・製薬会社等が実施する研修会に参加する	7回	100%
		専門書物から知識を得る	4冊以上	じほう出版等の専門書に親しむ	4冊以上	100%
		電子媒体から知識を得る	2項目/月以上	インターネット、CDR、DVD等から習得する	2回以上	100%

令和4年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【X線部門】

視点	戦略課題（目標）	評価指標・目標値		本年度実施計画	実測値	達成率
		評価指標・目標値	本年度目標値			
顧客の視点	インフォームドコンセントの推進	撮影に関するクレーム件数	0件	検査内容の説明	クレーム無し	100%
	接遇の向上	患者対応に関するクレーム件数	0件	入退室時のアナウンス	クレーム無し	100%
	収益の確保	放射線室の総撮影件数	3600件	各種撮影機器の件数の増加を目指す	3351件	90%
財務の視点	収入の確保	医事係との情報交換	年2回以上	診療報酬算定等についてのミーティング	年2回	100%
	コスト削減	放射線機器の日常点検	毎日	6機器について月別シートにより毎日点検	毎日実施	100%
		医療機器の保守点検	年1回以上	6機器について点検計画書を作成し実施	計画に基づき実施	100%
業務の質の視点	安全・安心な検査の実施	医療事故件数	適宜	患者の転倒、転落、受傷事故防止	0件	100%
			1件/月 以内	インシデント報告件数を月1件以内にする	実施	90%
		撮影時		CT造影剤問診表確認	毎回確認	100%
		医師への画像情報の報告	適宜	癌・急性期疾患・特異所見等について随時報告	適宜	100%
		放射線被ばく相談	適宜	患者さんが放射線検査に不安があった際に対応	相談 0件	0%
業務効率の視点	効率的業務の推進	他部門との情報交換	年2回以上	連携をスムーズに行うためのミーティング	適宜	100%
	院内カルテの効率化	カルテメーカーとの打ち合わせ	年1回以上	院内カルテ及び画像閲覧システムの修正	適宜	100%
学習と成長の視点	幅広い知識の習得と能力向上	各種勉強会・研修会への参加	年6回以上	診療所内外勉強会・研修会への積極的参加	13回	100%
		出前講座・院外発表	年1回以上	出前講座・院外発表（放射線技師学術大会等）	2回	100%
	放射線安全管理委員会 職員研修	職員への放射線取扱研修	年1回以上	診療所内での職員研修の実施	年1回実施	100%



令和4年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【検査部門】

視点	戦略課題(目標)	評価指標・目標値		本年度実施計画	実行結果(実施値)	達成率
		評価指標・目標値	本年度目標値			
顧客の視点	地域啓蒙活動の推進	出前講座・教室の実施	1回以上	糖尿病教室等	1回	100%
	患者満足度の向上	接遇・技術研修会等参加回数	1回以上	検査内容の事前説明を徹底	0回	0%
財務の視点	材料費の抑制	材料リストの見直し	2回以上	同等製品との価格比較	4回	200%
	試薬・診療材料の適正管理(在庫管理の徹底)	有効期間の確認	月2回以上	在庫管理の徹底	毎月実施	100%
	収入の確保	医事との連携強化	1回以上	診療報酬についての意見交換の実施	2回	200%
業務の質の視点	臨床検査精度管理の充実と向上	精度に関する研修会参加回数	2回以上	研修会の参加	1回	50%
	他施設とのデータ互換性の向上	外部精度管理調査の参加回数	3回以上	医師会等の精度管理調査の参加	6回	200%
業務効率の視点	効率的業務の推進	他部門との連携強化	3回以上	関連部門との意見交換の実施	2回	67%
長学 の視 習と 成 点	技能・能力の向上	所外の研修会・学会の参加回数	4回以上	技術と知識の向上	21回	525%

# 業務改善委員会

委員長 加藤 喜信

令和4年度も新型コロナに対する発熱外来、ワクチン接種等でなかなか時間がとれず、残念ながら開催されませんでした。

令和5年度は業務改善委員会のあり方について考えていきたいと思えます。

構成委員：阿部 俊和 古田 一裕 高橋 通訓 亀井 浩 小野寺 甲仁 佐々木 清光  
小野寺 利佳 高橋 須磨 伊藤 舞 千田 瑞穂 佐藤 康博 佐藤 美幸  
佐藤 大樹 岩 渕 月

# 薬事委員会

薬剤師 小野寺 甲仁

薬事委員会は、医薬品の購入及び管理が適正かつ有効に行なわれるように協議する場として設置され、通常年2回開催されます。

## 1 委員会構成

委員長 所長 阿部俊和

委員 副町長 鈴木 浩之 副所長 古田 一裕 内科長 加藤 喜信  
歯科長 高橋 通訓 看護師長 小野寺 利佳 薬剤師 小野寺 甲仁  
事務長 佐藤 康博 医療係長 佐藤 美幸

## 2 会議内容

### (1) 報告事項

令和3年度薬品購入実績について

令和3年度ワクチン接種状況について

令和4年度インフルエンザ予防接種状況について

令和5年度に使用期限の終了する医薬品について

### (2) 協議事項

令和3年度使用期限終了医薬品の廃棄について

令和4年度同成分含有薬品の採用について

令和5年度見積依頼薬品について

# 糖尿病教室

看護師長 小野寺 利佳

令和4年度も昨年度同様、新型コロナウイルス感染症で感染を避けるため糖尿病教室を行わず7月より関連部署から糖尿病通信をA4版で発行し総合受付で糖尿病患者様、その御家族、興味のある方に配布を行いました。

今後は新型コロナウイルス感染症について、厚生省の指針に基づきながら患者様と医療側との密接な連携による療養指導の必要性を考え地道ではありますが糖尿病の基本を知っていただくためにも今後も現状にあった方法で継続していきたいと考えております。

回		テーマ	担当
第1回	1号通信	糖尿病の合併症	阿部所長
第2回	2号通信	糖尿病とフットケア	看護師
第3回	3号通信	糖尿病の食事療法	管理栄養士
第4回	4号通信	糖尿病と歯周病	歯科長
第5回	5号通信	検査値のはなし	亀井検査技師
第6回	6号通信	糖尿病とお薬	小野寺薬剤師

# 所内勉強会

薬剤師 小野寺 甲仁

主に診療所職員を対象として、知識の習得及びスキル向上を目的に勉強会を開催しています。講師は製薬会社の担当者に依頼し、最新の治療薬等の情報に関する説明を頂いています。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、合計2回の開催となりました。今後も当該感染症の状況を踏まえながら、勉強会の実施を検討していきます。

## 令和4年度所内勉強会実績

回	開催日	テーマ	講師
第1回	令和5年2月9日	新型コロナウイルス感染症治療薬	塩野義製薬株式会社
第2回	令和5年3月2日	子宮頸がんワクチン	MSD株式会社

# 出前講座

医療係

町民を対象として公衆衛生、医療、健康等の保健医療全般の知識や意識を高めることを目的に、職員が訪問して講演を行う事業を平成21年6月から診療所にて開始しましたが、平成22年6月から出前講座事業は金ケ崎町役場の事業となりました。

診療所関係の講座メニューは6職種25演題で、令和4年度の実施状況は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対応回数3回（うち1回は資料提出による対応）、受講者数35名でした。

## 1. 令和4年度出前講座メニュー（診療所関係）

番号	講座名	担当	時間
1	糖尿病について	内科医師	30分
2	健康で長生きするためには	内科医師	30～60分
3	インフルエンザについて	内科医師	30分
4	健康診断について	内科医師	30分
5	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)	内科医師	30分
6	慢性腎臓病について	泌尿器科医師	30分
7	前立腺肥大症、前立腺癌について	泌尿器科医師	30分
8	透析療法について	泌尿器科医師	30分
9	泌尿性生殖器癌について	泌尿器科医師	30分
10	尿失禁、過活動膀胱について	泌尿器科医師	30分
11	肛門疾患(排便時出血)について	外科医師	30分
12	診療所医師による健康講座	医師	30分
13	歯周病と全身疾患について	歯科医師	30分
14	正しい歯の磨き方	歯科医師	30分
15	歯周病と糖尿病	歯科医師	30分
16	マウスガード(スポーツ歯学)	歯科医師	30分
17	口腔ケアと誤嚥性肺炎の予防	歯科医師	30分

18	お薬の飲み方・使い方	薬剤師	30分
19	X線写真でわかるさまざまな病気	診療放射線技師	30分
20	検査の結果をみてみよう!! (糖尿病)	臨床検査技師	30分
21	応急処置について	看護師	30~60分
22	尿失禁と骨盤底筋体操について	看護師	30分
23	インフルエンザの予防方法について	看護師	30分
24	訪問看護について	看護師	30分
25	血圧の正しい測定法を学びましょう	看護師	30分

## 2. 令和4年度出前講座実績（診療所関係）

	実施日	講座名	講師	受講団体	参加人数
1	R4年6月23日	口腔ケア	高橋歯科長	かみしも結いの会	20名
2	8月24日	薬の正しい使い方	小野寺薬剤師	瘤木地域見守り ふれあいネットワーク	15名
3	12月7日	脳卒中治療のトレンド	阿部所長	瘤木地域見守り ふれあいネットワーク	資料提供
計					35名

# CT読影会（画像カンファレンス）

診療放射線技師 佐々木 清光

## （1）CT読影会の開催概要

月に隔週の木曜日(第2週、第4週) 16時30分から読影会を行っております。令和4年度は新型コロナウイルスワクチン接種もあり時間の確保が難しい日もありましたが、当院で撮影した症例に関しては、全症例漏れることなく症例検討を行えました。

内容は、当院で撮影したCT画像について、遠隔画像診断（鈴木画像診断研究所）の読影結果も踏まえて、主治医が行った診療行為に対してCT画像の読影結果及び採血等の臨床検査結果を照らし合わせ、他の医師も交えての診療行為の検討を行っております。

メディア等でも取り上げられております画像読影の未確認ミスによる病態悪化及び死亡される例が散見されております。読影会の目的は、当院でもこのような事例が起きないようにする為に撮影した画像確認、さらに医師・技師の知識向上の為、CT読影会を行っております。

他の職種の方々から賛同頂き、常勤医、臨床検査技師、薬剤師、放射線技師にて診察室にて行っております。

今後の展望としては、さらに他の職種の方々にもご興味があれば、ご参加頂ければ幸いです。

## （2）CT読影会の実績統計

	開催日	読影件数		開催日	読影件数
第1回	令和4年4月7日	9件	第12回	令和4年10月13日	23件
第2回	令和4年4月29日	21件	第13回	令和4年11月10日	23件
第3回	令和4年5月26日	27件	第14回	令和4年11月24日	18件
第4回	令和4年6月9日	8件	第15回	令和4年12月8日	15件
第5回	令和4年6月23日	19件	第16回	令和4年12月22日	19件
第6回	令和4年7月7日	15件	第17回	令和5年1月12日	12件
第7回	令和4年7月21日	17件	第18回	令和5年1月26日	12件
第8回	令和4年8月4日	18件	第19回	令和5年2月9日	17件
第9回	令和4年8月17日	17件	第20回	令和5年3月9日	28件
第10回	令和4年9月8日	40件	第21回	令和5年3月30日	14件
第11回	令和4年9月22日	18件			

# 学童、園児の健康診断

担当医師 古田 一裕

幼稚園の健康診断および医師会よりの依頼で金ケ崎第一小学校と西小学校の校医を引き受け健診に従事しています。校医に関しては第一小学校を阿部所長、西小学校を古田が担当しました。幼稚園の健診は阿部所長、加藤医師、古田との3人で担当しています。金ケ崎診療所は小児、学童の健診維持に貢献し、子どもを持つ若い世代が安全で安心して子育てをし、生活ができる環境の維持に貢献しています。金ケ崎高等学校が令和4年度より加わりました。

## ◇幼稚園

- 1) 三ヶ尻幼稚園、南方幼稚園 4才児：古田
- 2) 六原幼稚園、南方幼稚園 5才児：加藤内科長
- 3) 永岡原幼稚園、南方幼稚園 3才児：阿部所長
- 4) ゆうゆう保育園 春、秋 加藤内科長、古田

## ◇小学校

- 1) 第一小学校 阿部所長
- 2) 西小学校 古田

## ◇高校

金ケ崎高等学校 加藤内科長

# 令和4年度の診療応援状況

◇阿部俊和

毎週火曜日の午後総合水沢病院への診療応援

随時奥州市立夜間救急

◇古田一裕

毎週火曜日の午前中県立千厩病院総合内科外来診療

随時奥州市立夜間救急

◇加藤喜信

毎週水曜日午後県立千厩病院内視鏡検査、内視鏡手術

随時まごころ病院当直

随時奥州市立夜間救急

(加藤医師の胆沢病院出張はコロナ禍で一時中断中)

# 令和4年度 発表等実績

所長 阿部 俊和

## ◇出前講座

1) 2022年12月7日。ふれあい瘤木講座。『脳卒中治療のトレンド』。瘤木（紙面での講座）

## ◇座長

1) 2022年11月9日。CKDを考える会。講演：安藤先生。ホテルプラザイン水沢。

# 出張予防接種

担当医師 阿部 俊和

国保金ヶ崎診療所では産業医訪問先企業の健康管理目的、また金ヶ崎町にある企業に対するサービス目的で、出張インフルエンザワクチン接種を行っています。令和3年度より新型コロナウイルスに対するワクチンの個別接種、集団接種を優先せざるを得ない状況であり、令和4年度も出張インフルエンザワクチン接種は限定させていただきました。昨年度は3日間、総数167名でありましたが、今年度は3日間、157名でありました。

原則、医師1名、看護師1名、事務2名の編成で訪問しワクチン接種を行いました。

また、所内において役場職員155名の集団接種も行いました。企業からの依頼で8社118名の接種も行いました。

今後も当診療所業務に支障がでない範囲で出張予防接種事業を継続したいと思います。

## 出張ワクチン接種

北上ハイテクペーパー：1日間、85名

関東商事：1日間、29名

内田シューズ：1日間、43名

## 所内での集団接種

役場職員：3日間155名

# 産業医活動

日本医師会認定産業医 阿部 俊和

金ケ崎町はトヨタ自動車東日本（株）をはじめ、その関連企業や製薬会社、物流倉庫など多くの工場、事業所を抱えております。

産業医活動の目的は、金ケ崎地域の産業振興の一助としての産業医派遣であります。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症に対する個別並びに集団接種対応、発熱外来対応のため午後の時間に制約が生じ一時的に産業医活動を縮小せざるを得ませんでした。令和4年度より通常の産業医活動に復帰致しました。

業務は例年通り日医認定産業医の資格を有する3人の医師体制で行い、金ケ崎町役場の産業医の他に北上ハイテクペーパー（株）、アイシン東北（株）と共同物流サービス（株）、グリーンテックの4事業所において産業医活動を行いました。

役場における産業医活動は診療所での健康診断の一部分を引き受ける事、更に衛生委員会に出席し、産業医としてコメントを加える事が主な業務でありました。しかしながら、外来診療の合間に会議出席をせざるを得ない状況であり、衛生委員会への出席率が悪く、次年度より出席する環境を整えていきたいと思っております。

北上ハイテクペーパーには原則月1回月曜日の午後に訪問しました。活動内容は職員検診後の要指導対象者に対する面談、職場巡視、衛生委員会への出席、不調を訴える職員の診察、残業の多い職員との面談などが主なものでありました。衛生委員会では医療のトピックスの情報供与と新型コロナウイルスなどの感染症の情報提供も行いました。その他令和4年度もインフルエンザの予防接種を会社訪問にて行いました。

アイシン東北、共同物流においても北上ハイテクペーパーと同様に月1回午後に職場巡視、検診後の要指導者に対する面談、衛生委員会への出席等、産業医として必要な活動を行いました。

グリーンテックにおいては職場巡視する環境にはなく、衛生委員会出席が主な業務でありました。

今後も継続して行い、金ケ崎町の産業振興の一端を担いたいと思っております。

## 4. 研修・実習受入

### 臨床研修医受入

事務長補佐兼医療係長 佐藤 美幸

岩手県立胆沢病院臨床研修医(医師免許取得後2年目までの医師)の臨床研修を受け入れる教育施設として、臨床研修医3名を受け入れました。

臨床研修は、国の定めた到達目標に準拠して、指導医のもとでの診療行為を通して実施するもので、医療に携わる若い人材を育成するために行われます。

#### 【G I O】(一般目標)

管理型臨床研修病院である県立胆沢病院における一般目標に準じ、綿密な連携体制のもとに地域医療に関し、特に次の点を重視し研修を実施する。

#### 【S B O s】(行動目標)

- 1 専門分野にとらわれない総合的な診療を行う能力・技術の習得
- 2 患者及び家族とのコミュニケーションを重視した、精神的な面を含めて幅広い人間性の習得
- 3 地域住民と接する機会を通じての、社会性・公共性の認識の習得
- 4 プライマリ・ケア実践のための対応能力の習得

#### 1 臨床研修医及び研修期間

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| (1) 佐藤 航 先生 | 令和4年5月16日～令和4年6月12日 |
| (2) 松本 洸 先生 | 令和4年7月11日～令和4年8月7日  |
| (3) 佐藤泰人 先生 | 令和4年9月5日～令和4年10月2日  |

## 2 研修医感想

金ケ崎診療所での地域医療研修を終えて

岩手県立胆沢病院 2年次研修医 佐藤 航

まずは地域医療研修として私のことを快く受け入れてくださった阿部所長をはじめとする医療スタッフの皆様、保健福祉センターの皆様、その他関わっていただいた全ての皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

1か月間というごく限られた期間での研修にはなりましたが、各種外来・訪問診療・産業医面談・ワクチン接種対応など、普段私が研修しているいわゆる「急性期病院」では経験する機会の少ない様々な物事を見て学ばせていただきました。中でもとりわけ訪問診療に関しましては、超高齢化社会の現代においてニーズが高まる在宅医療でありながら臨床研修では触れる機会の少ない領域であり、金ケ崎の地域の皆様のご自宅に実際に赴き診療、診察させていただいたことに関しましては大変いい経験をさせていただいたと感謝しております。

指導医の先生方も仰ってはおりましたけれど、医療の分業化が進む中で私どものような若手の医師ですとどうしても先進的な治療や検査に目を引かれがちではありますが、その下支えのような、縁の下の力持ちのような存在として各市町村には地域に根差した診療所や病院があること、むしろその存在のほうが各地域の人々にとっては必要不可欠な存在であることを忘れずに今後の研修、並びに診療に邁進していきたいと考えております。

最後にはなりますが、大変貴重な経験をさせていただきまして、重ねて感謝申し上げます。1か月間本当にありがとうございました。



## 金ヶ崎診療所での地域医療研修を終えて

岩手県立胆沢病院 2年次研修医 松本 洸

2022年7月11日～8月7日の約1ヶ月間、地域医療研修にてお世話になりました。医師免許取得後、急性期病院での研修が主となっている中、地域住民の診療、保健活動がどのように行われているのか、身をもって経験させていただきました。

研修期間が4回目の新型コロナウイルスワクチン接種開始時期であったため、高齢の方を中心に、問診・接種に携わらせていただきました。中には、自分が胆沢病院で病棟担当医として関わらせて頂いた患者さんも接種に来られておりました。お元気な様子を見ることができ、自分も地域医療の一部を担っていると改めて実感を得ることができました。また、日常の内科外来にて何例か患者さんの診察を担当させていただきました。定期フォローの患者さんを診させていただく機会が少ない中で、普段の胆沢病院での救急外来とはまた違う診察を経験させていただきました。

往診にもかなりの回数連れて行っていただきました。ご自宅での生活動線や生活環境、家族との関わり方など、診察室での診療からさらに生活に目を向けた対応を経験させていただきました。

健診後面談や職場巡視にも同行させていただきました。健康診断のフォローや労働環境視察など、実際に地域の産業医の業務を体験することができ、急性期医療とはまた異なる領域で、新鮮でした。

今回の研修で、金ヶ崎町についても学ぶことが多くありました。私自身、北上出身であり幼少期から金ヶ崎へは度々足を運んでおりました。武家屋敷や千田正記念館などは知っていましたが、西側の地域にはあまり馴染みがありませんでした。1週目に事務の方に町内を案内いただき、温泉や酪農など、私が知らなかった金ヶ崎町の特色を教えてくださいました。研修期間中はCOVID-19の第7波真っ只中であり、気になっていた飲食店へはなかなか立ち寄りできませんでしたが、機会をみてチャレンジしようかと思っております。

振り返ってみるとあっという間の1ヶ月で、充実した毎日でありました。所長の阿部先生をはじめとした先生方、医療スタッフの方々、事務の方々には大変お世話になりました。この紙面を借りて感謝申し上げます。



## 金ケ崎診療所での1ヶ月の研修を終えて私が感じたこと

岩手県立胆沢病院2年次研修医 佐藤 泰人

1ヶ月の研修において私が一番経験になったと思うのは予防接種です。金ケ崎診療所では新型コロナウイルスの予防接種をおこなっており、予防接種の日は120人ほどワクチン接種を行います。私たち研修医はなかなか予防接種をする機会がなく筋肉注射は初めての経験でした。初めはビクビクしていた手つきでしたが次第にコツが掴めていき上達していくのを実感することはとても嬉しかったです。また問診の方法や接種後の急変の対応なども学ばせていただきとても良い経験になった反面、まだまだ未熟な自分も改めて発見でき今後も常に学ぶ姿勢でいることの重要性を感じました。次に経験になったことは外来の進め方です。研修医はどうしても救急や入院患者さんを見る場面がかなり多く、外来で患者さんを長く見ていくことは経験がありませんでした。今回の研修はそうした外来の進め方をどのように行っていくかを目標としていました。1ヶ月の研修において毎日外来につき外来の進め方をたくさん学び、自分でも数人外来をさせてもらいとても経験になったと思っています。来年以降外来診療も多くなると思うので、金ケ崎診療所で学べて非常に良かったです。

診療所外でも印象に残ったことがあります。それは金ケ崎町には美味しいカレーが数多くあることです。金ケ崎町は「カレーがさきスタンプラリー」などのイベントがあるようにカレーが有名な地域です。研修中に全てのカレーを食べることは叶いませんでしたがどこの店舗もそれぞれに個性がありそれぞれ美味しい店ばかりでした。

最後になりますが研修を受け入れてくださった金ケ崎診療所の方々に感謝を申し上げます。金ケ崎診療所にかかる患者様も私の研修を暖かく見守ってくださりありがとうございました。今回の研修での経験をまた次の診療に生かしていきたいと思えます。



# 地域医療実習受入

事務長補佐兼医療係長 佐藤 美幸

1 東北医科薬科大学医学部の地域包括医療実習受入機関として、2名の学生を実習生として受け入れました。

## (1) 実習生氏名及び実習期間

①吉永 真理 令和4年5月23日～令和4年5月27日

②高橋 祐 令和4年6月13日～令和4年6月17日

## (2) 実習生感想

### 金ケ崎診療所での一週間を通して

東北医科薬科大学 医学部第6学年 吉永 真理

2022年5月23日～27日の一週間、金ケ崎診療所にて地域総合診療実習・地域包括医療実習をさせていただきました。実習期間中は、外来見学、訪問診療・訪問看護、幼稚園・保育園健診、産業医の職場巡視、発熱外来、ワクチン集団接種などの幅広い業務を見学しました。また、介護保険制度や保健・予防活動についての講義や、臨床検査・診療放射線についての講義もさせていただきました。これらを通して、金ケ崎診療所では住民の方々の暮らしに寄り添った医療が提供されていることや、多職種連携によって住民の健康が守られていることを学ぶことが出来ました。また、主に急性期を扱う大学病院とは異なり、複数の慢性疾患を抱えた患者さんの地域の診療所として、重要な役割を果たしていると実感いたしました。ご指導いただき、誠にありがとうございました。



## 協働による地域医療

東北医科薬科大学 医学部第6学年 高橋 祐

この度は地域医療を学ぶ実習の一環で金ケ崎診療所にて実習させていただきました。

印象的だったことは、金ケ崎診療所と保健福祉センターが物理的、心理的に近い関係にあるということです。金ケ崎診療所・歯科診療所、訪問看護ステーションは金ケ崎町保健福祉センターに隣接しています。また、朝礼や会議などで毎日顔を合わせ、協力しながら医療・福祉を提供しています。医療職だけでは決して医療・福祉を提供することはできませんので、このように近い関係にあることは大きな強みであると考えます。地域医療における1つの理想形を学ぶことができました。

実習にご協力いただきました町民の皆様、ご指導いただきました職員の皆様に御礼申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



2 岩手医科大学医学部の地域医療臨床実習受入機関として、2名の学生を実習生として受け入れました。

(1) 実習生氏名及び実習期間

- ①田中 泰斗 令和4年10月31日～令和4年11月2日
- ②金野百合子 令和4年11月14日～令和4年11月16日

(2) 実習生感想

地域医療実習の感想

岩手医科大学 医学部第5学年 田中 泰斗

金ヶ崎診療所での地域医療実習は3日間という短い時間でしたが、地域医療を志している自分にとって大変濃い3日間になりました。

診療所での実習を通して最も感じたことは、診療所全体での雰囲気の良いことです。お世話になった診療所スタッフの方々はどの方々も丁寧で優しく、柔らかい印象を持ちました。このような個人個人の人柄や雰囲気が診療所全体としての雰囲気に影響し、患者さんの通院のしやすさなどにも影響してくるのかなと思いました。

今回の実習で学んだことを将来も活かしていきたいと思います。大変お世話になりました。



## 地域医療実習の感想

岩手医科大学 医学部5学年 金野 百合子

実習ではワクチン接種や内科外来、訪問看護、各種検査、介護保険制度、保険・予防活動などについて幅広く学ばせて頂きました。この実習を通して、地域住民の方々の生活に寄り添った医療を実践していくことが地域医療において重要なことであると実感しました。先生方や診療所のスタッフの皆さん方の努力やチームワークが患者さんに合った最善の医療の提供につながっていることも実習を通して感じる事ができました。また、金ケ崎町の健康増進に関する活動についても多種多様な取り組みが為されていることを知り、地域における疾病予防や健康維持の大切さ、課題についても考える事ができました。3日間と短い期間でしたが実習させていただき誠にありがとうございました。

